

橋梁付属物詳細図

圖 面 目 次

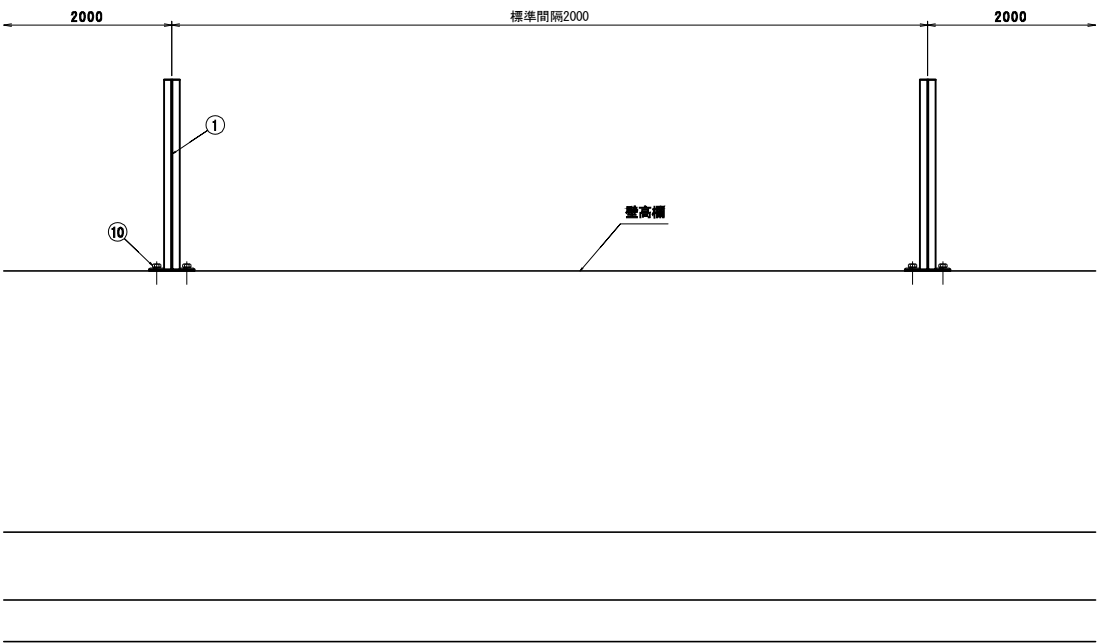
[illegible]

眩光防止板Gi詳細図

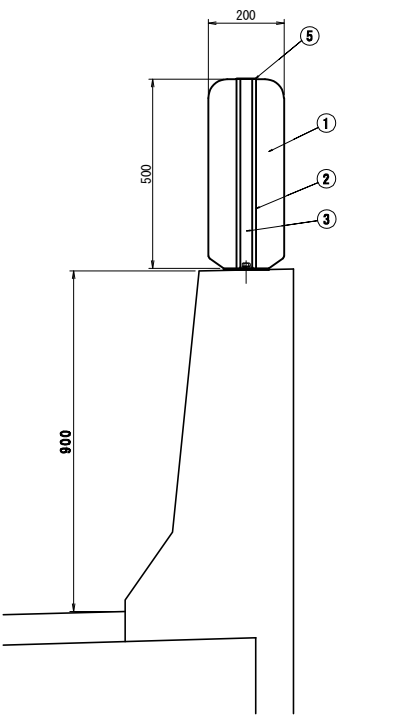
平面図 S=1:600

眩光防止板 n=100基(中分側に設置)

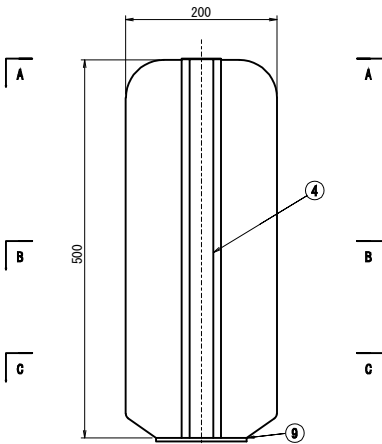
側面図 S=1:20



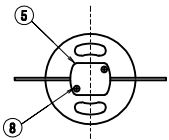
正面図 S=1:20



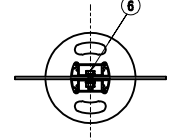
① 防眩板 S=1:10
(橋梁区間：白色)



A-A断面図 S=1:10

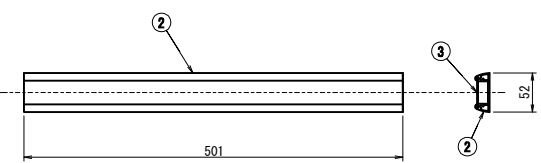


B-B断面図 S=1:10

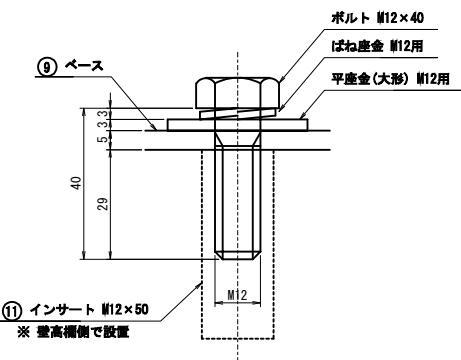


C-C断面図 S=1:10

② 支脚 ③ シャッター S=1:10



⑩ 固定ボルト S=1:2

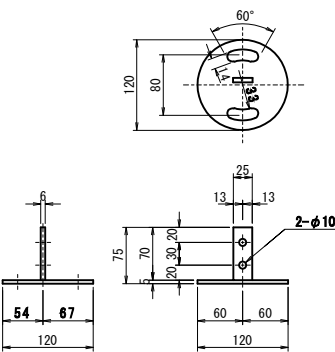


材料表

一基当り

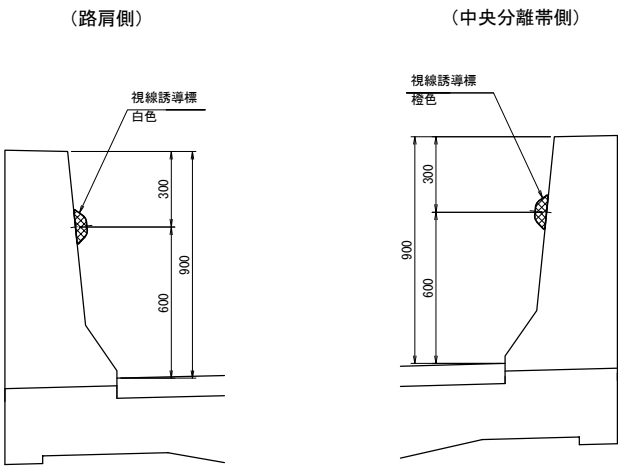
PLタイプ				
部 番	部 品 名	数 量	材 質	摘 要
①	防 眩 板	1	プラメタル	アルミ樹脂積層複合材 t3.0
②	支 脚	2	A6063S	—
③	シャッター	2	A6063S	—
④	反射テープ	2	スコッチライト	—
⑤	アルミ壁	1	A5052P	t1
⑥	M6ボルト・ナット	2	SUS	N×1, 平ワ×2, Sワ×1
⑦	M8ボルト・ナット	2	SUS	N×1, 平ワ×2, Sワ×1
⑧	ビス	2	SUS	—
⑨	ベースL	1	SS400	HD255
⑩	固定ボルト	2	—	HD235 平大ワ×1, Sワ×1
⑪	インサート	2	SUS	—

⑨ ベースL S=1:10

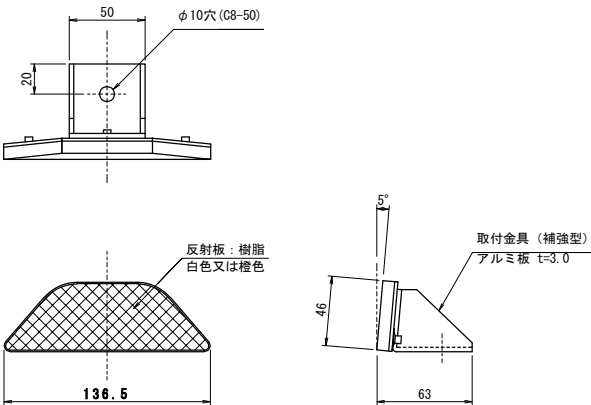


東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	眩光防止板Gi詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	001 / 002
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

断面図 S=1:30



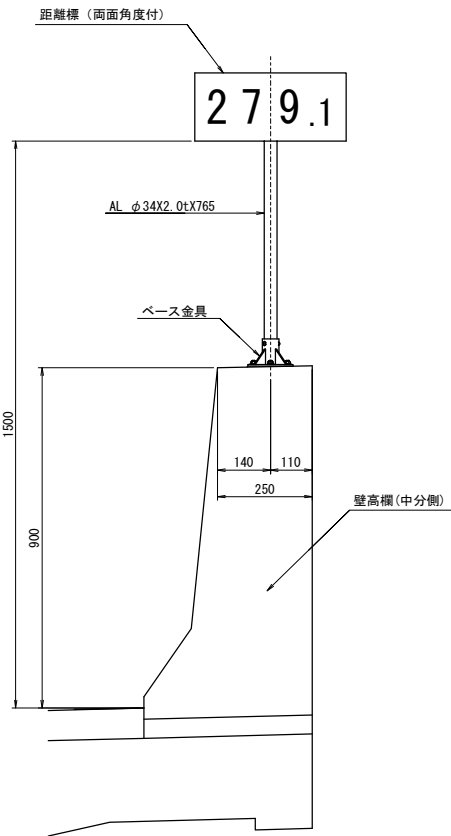
反射体詳細図 S=1:5



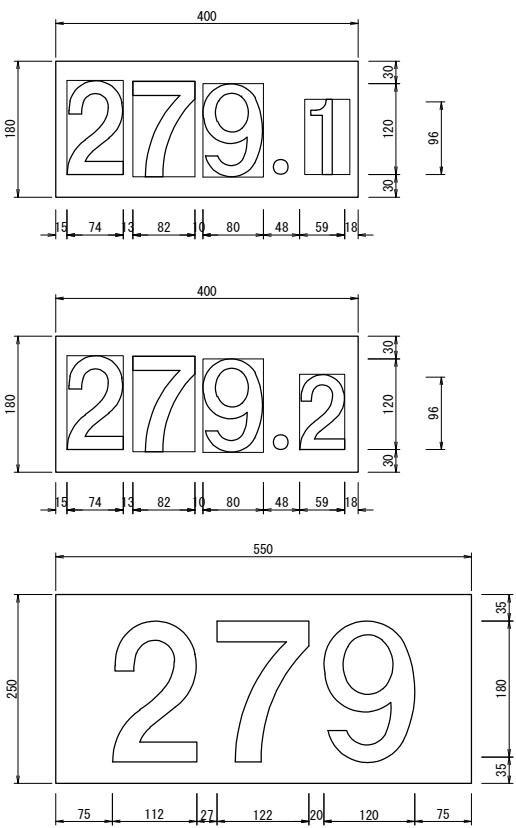
距離標C6詳細図

正面図 S=1:20

(100mポスト)

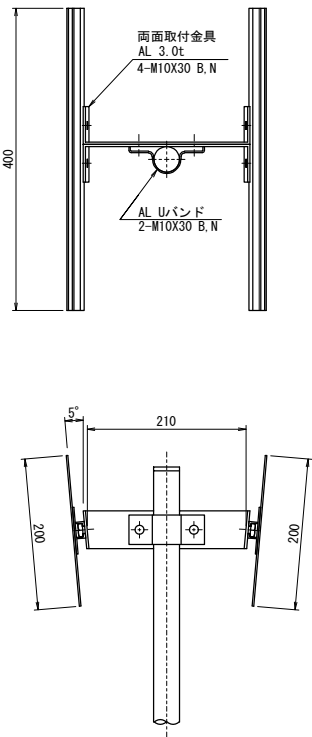


距離標詳細図 S=1:10



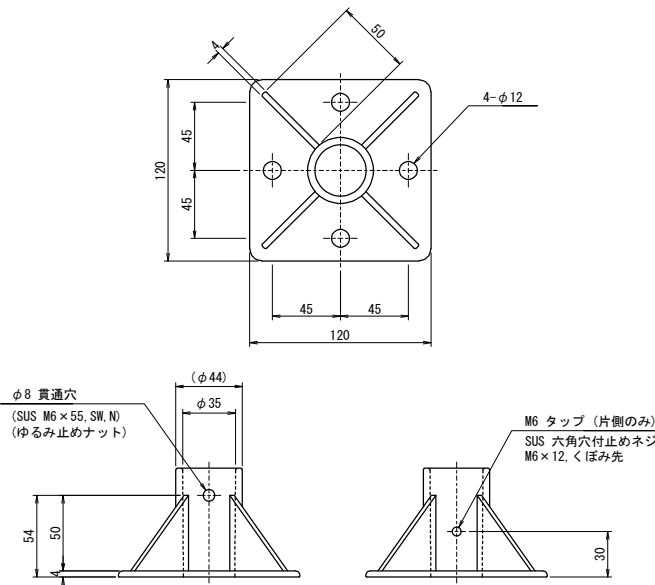
取付詳細図 S=1:10

(両面角度付)

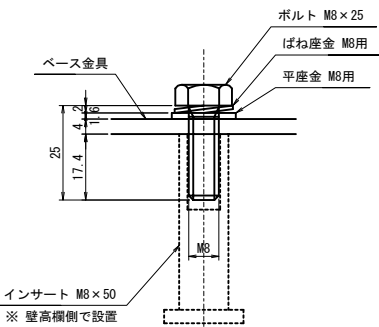


ベース金具詳細図 S=1:5

(アルミ製)



固定ボルト S=1:2



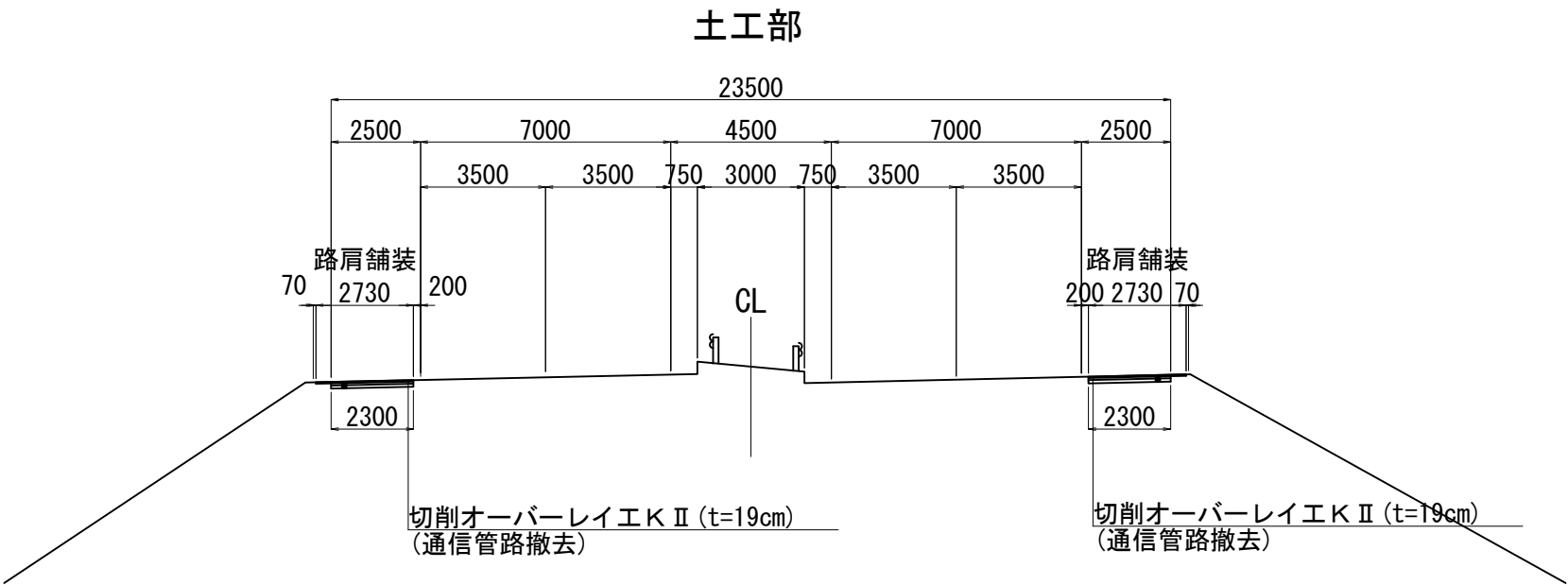
項 目	適用すべき諸基準又は規格・材質	備 考
距離標板	JIS H 4100 (アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材) A6063S	特殊一体押出成形
距離標板厚支柱	1km、100mポスト標は2.0mm以上 JIS H 4100 (アルミニウム及びアルミニウム合金の押出形材) A6063S又は、JIS H 4080 (アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管) A6063TE	
ボルト、ナット防錆処理	JIS B 1180 (六角ボルト) 強度区分4.6 JIS B 1180 (六角ナット) 強度区分4 JIS H 8610 (電気亜鉛めっき) 2種3級	※ゆるみ止め機能付
反射シート	1km、100mポスト標 プリズム型反射シート	

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	視線誘導標A3-3(Ⅱ)詳細図 距離標C6詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	002 / 002
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

対面通行用中央分離帯改良工

圖 面 目 次

[illegible]



路肩切削オーバーレイ対象範囲

	全体	面積 (㎡)
大森川橋・松塚川橋（下り線）	253.081 KP～255.155 KP	5662.0
八反田川橋（上り線）	262.964 KP～263.696 KP	1998.4
八反田川橋（下り線）	262.964 KP～263.696 KP	1998.4
新産ヶ沢橋（上り線）	272.407 KP～273.329 KP	2517.1
新産ヶ沢橋（下り線）	272.407 KP～273.329 KP	2517.1

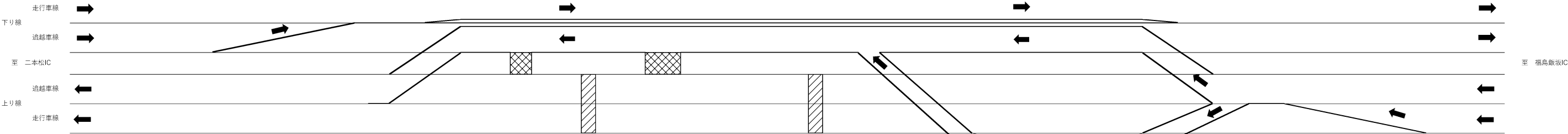
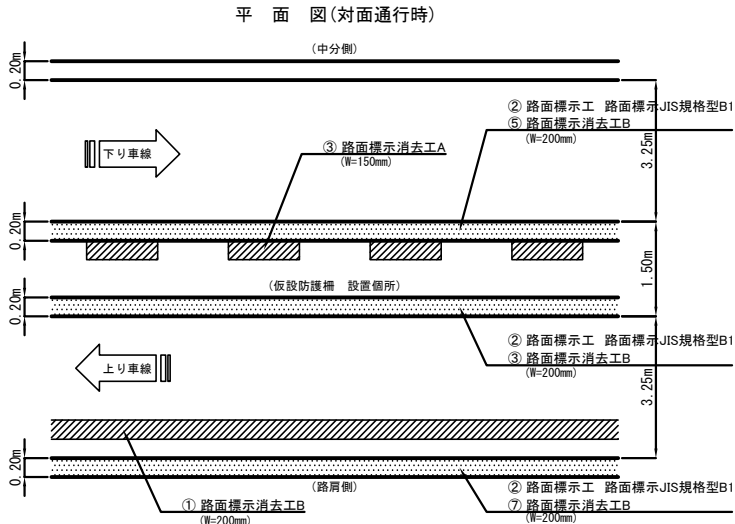
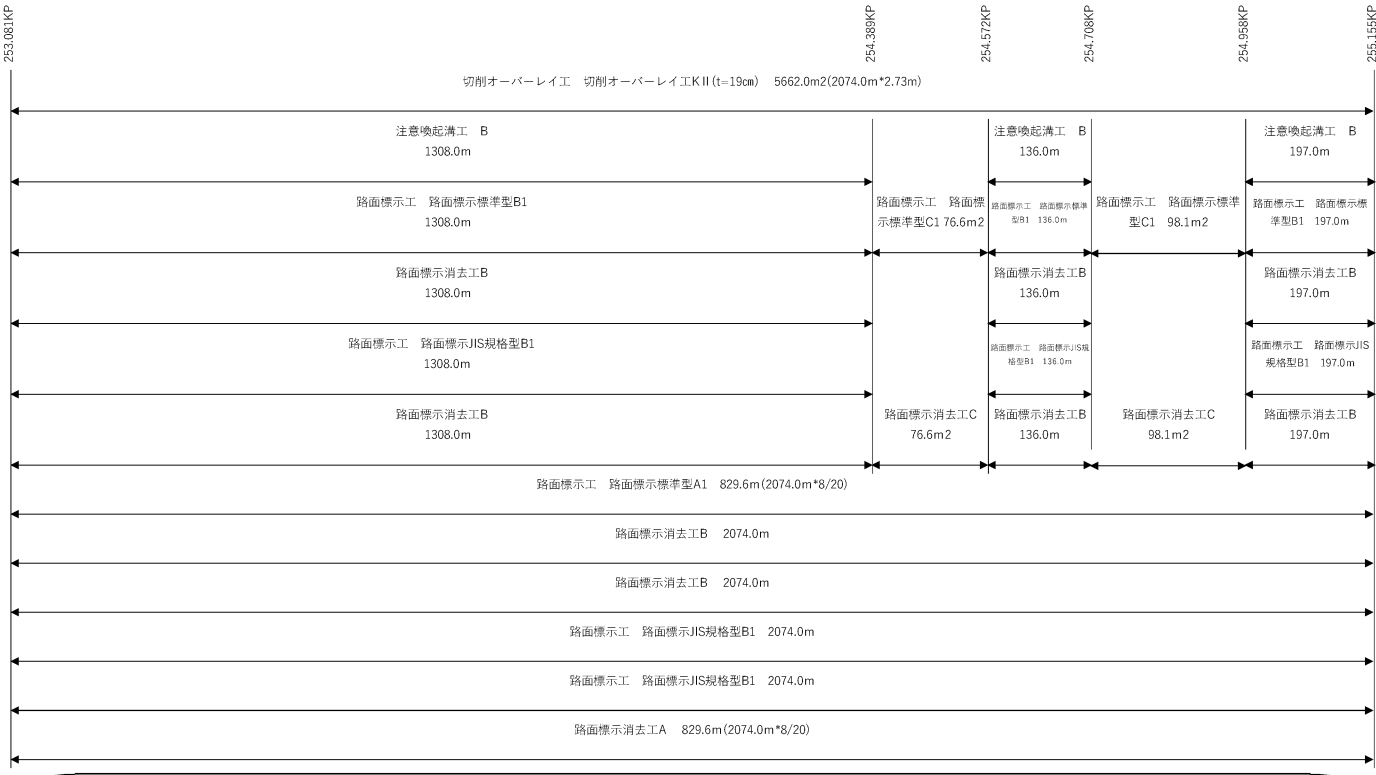
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	路肩舗装標準横断図		
縮 尺	図示	図面番号	001 / 008
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

大森川橋・松塚川橋

渡り車線施工図

数量表

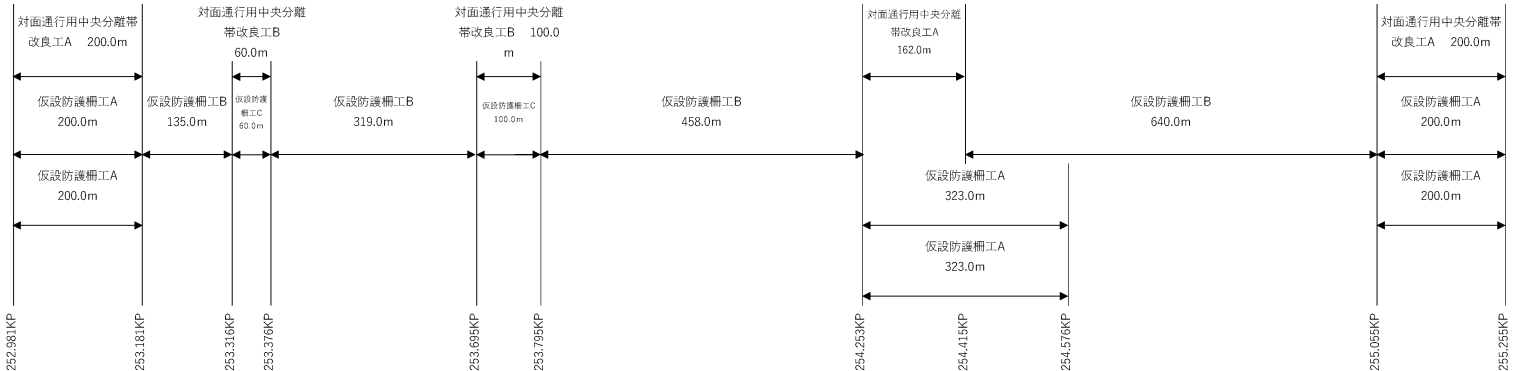
項目名	数量	単位	備考
切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ (t=19cm)	5662.0	m2	
路面標示工 路面標示標準型A1	829.6	m	
路面標示工 路面標示標準型B1	1641.0	m	
路面標示工 路面標示標準型C1	174.7	m2	
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	5789.0	m	
注意喚起溝工 B	1641.0	m	
路面標示消去工A	829.6	m	
路面標示消去工B	7430.0	m	
路面標示消去工C	174.7	m2	
対面通行用中央分離帯改良工A	562.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工B	160.0	m	
仮設防護柵工A	1446.0	m	
仮設防護柵工B	1552.0	m	
仮設防護柵工C	160.0	m	



対面通行用中央分離帯改良工数量内訳表

【大森川橋・松塚川橋 上り】

項目	表層 t=4cm	基層 t=6cm	上層路盤 t=20cm	路床切削 m³	路面標示 JIS型B1 m	防護柵 撤去・復旧 m	眩光防止板 撤去・復旧 基	視認改善柵 撤去・復旧 基	量綱楯 撤去・復旧 枚	備 考
中分改良位置	㎡	㎡	㎡							
中分改良工A 252.961 KP ～ 253.181 KP	880	900	920	75	800	200	51	3	2	
中分改良工B 253.316 KP ～ 253.376 KP	264	270	276	22	240	60	16	1	0	
中分改良工B 253.695 KP ～ 253.795 KP	440	450	460	37	400	100	26	2	1	
中分改良工A 254.253 KP ～ 254.415 KP	713	729	745	60	648	162	42	3	1	
中分改良工A 255.055 KP ～ 255.255 KP	880	900	920	75	800	200	51	3	2	



東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	大森川橋・松塚川橋 渡り車線施工図
縮 尺	— 図面番号 002 / 008
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

八反田川橋(上り線)

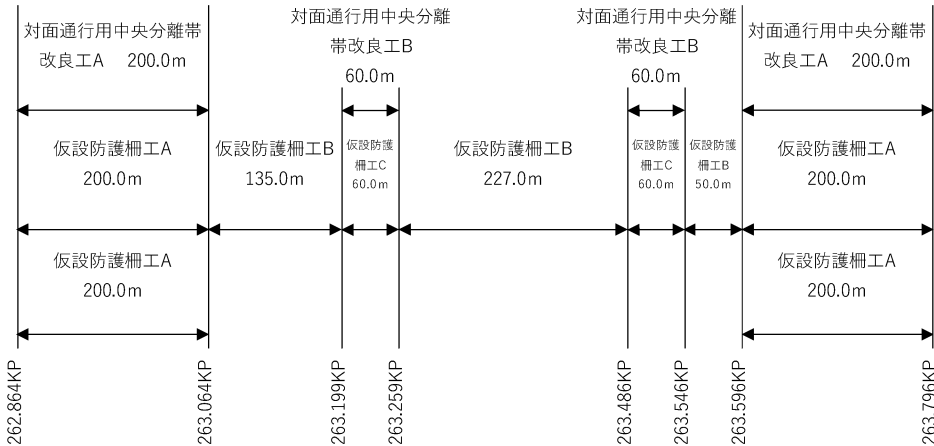
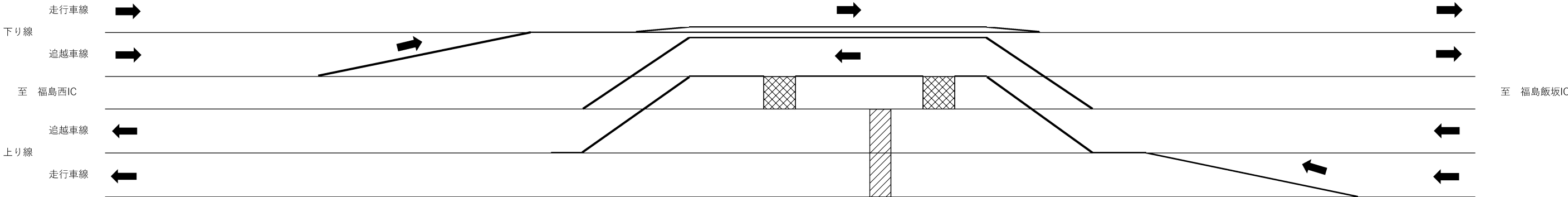
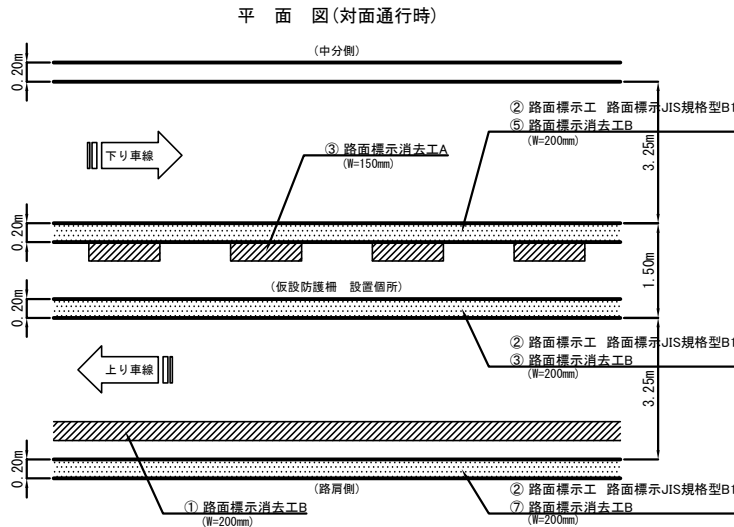
渡り車線施工図

数量表

項目名	数量	単位	備考
切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ (t=19cm)	1998.4	m2	
路面標示工 路面標示標準型A1	292.8	m	
路面標示工 路面標示標準型B1	732.0	m	
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	2196.0	m	
注意喚起溝工 B	732.0	m	
路面標示消去工A	292.8	m	
路面標示消去工B	2928.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工A	400.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工B	120.0	m	
仮設防護柵工A	800.0	m	
仮設防護柵工B	412.0	m	
仮設防護柵工C	120.0	m	

対面通行用中央分離帯改良工数量内訳表

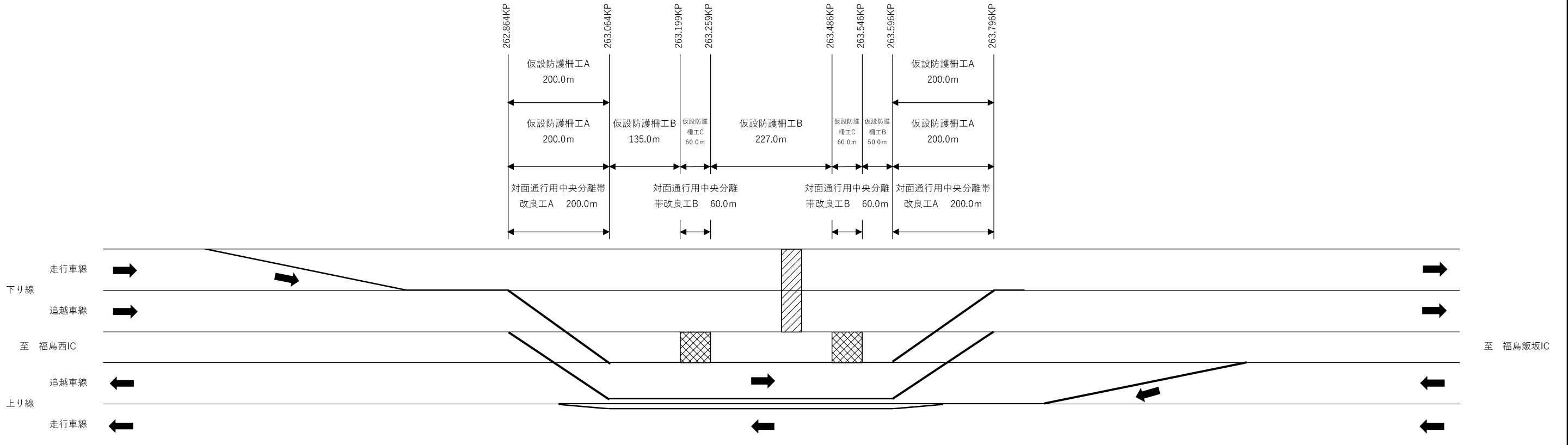
【八反田川橋 上り】										
項 目	表層	基層	上層路盤	路肩切削	路面標示	防護柵	眩光防止板	視線誘導標	距離標	備 考
	t=4cm ㎡	t=6cm ㎡	t=20cm ㎡	m ³	JIS型 B1 m	撤去 m	撤去 基	撤去 基	撤去 枚	
中分改良位置										
中分改良工A 262.864 KP ～ 263.064 KP	880	900	920	75	800	200	51	4	2	
中分改良工B 263.199 KP ～ 263.259 KP	264	270	276	22	240	60	16	1	1	
中分改良工B 263.486 KP ～ 263.546 KP	264	270	276	22	240	60	26	1	1	
中分改良工A 263.596 KP ～ 263.796 KP	880	900	920	75	800	200	42	4	2	



東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋(上り線) 渡り車線施工図
縮 尺	— 図面番号 003 / 008
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

八反田川橋(下り線)

渡り車線施工図

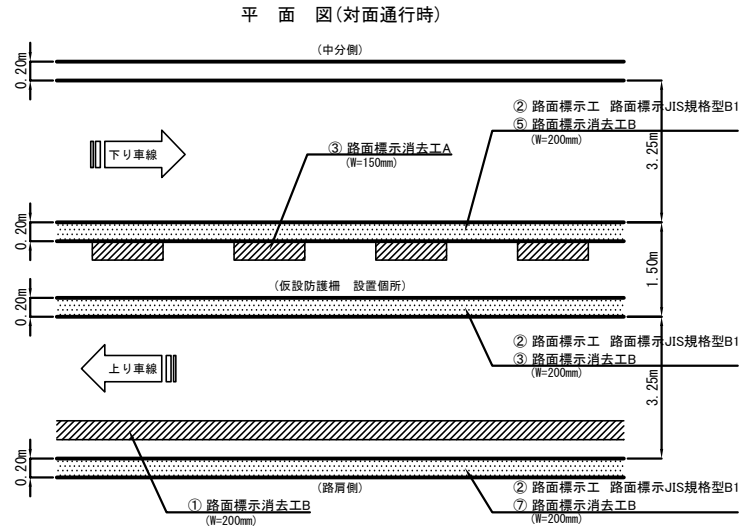


数量表

項目名	数量	単位	備考
切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ (t=19cm)	1998.4	m2	
路面標示工 路面標示標準型A1	292.8	m	
路面標示工 路面標示標準型B1	732.0	m	
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	2196.0	m	
注意喚起溝工 B	732.0	m	
路面標示消去工A	292.8	m	
路面標示消去工B	2928.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工A	400.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工B	120.0	m	
仮設防護柵工A	800.0	m	
仮設防護柵工B	412.0	m	
仮設防護柵工C	120.0	m	

対面通行用中央分離帯改良工数量内訳表

【八反田川橋 下り】										
項 目	表層	基層	上層路盤	路面切削	路面標示	防護柵	拡光防止柵	視線誘導標	距離標	備 考
	t=4cm ㎡	t=6cm ㎡	t=20cm ㎡	㎡	JIS型 B1 m	復旧 m	復旧 基	復旧 基	復旧 枚	
中分改良位置										
中分改良工A 262.864 KP ～ 263.064 KP	200 m 880	900	920	75	800	200	51	4	2	
中分改良工B 263.199 KP ～ 263.259 KP	60 m 264	270	276	22	240	60	16	1	1	
中分改良工B 263.486 KP ～ 263.546 KP	60 m 264	270	276	22	240	60	26	1	1	
中分改良工A 263.596 KP ～ 263.796 KP	200 m 880	900	920	75	800	200	42	4	2	



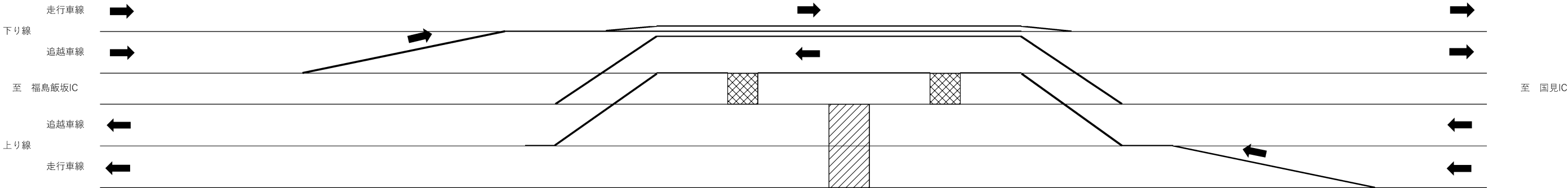
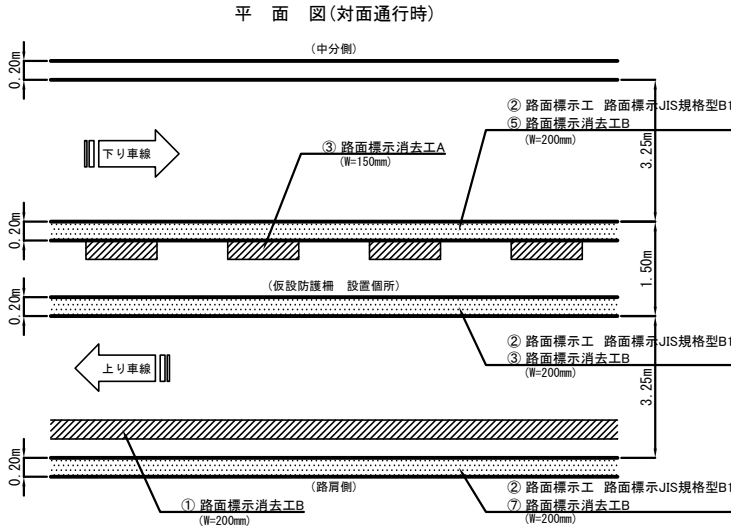
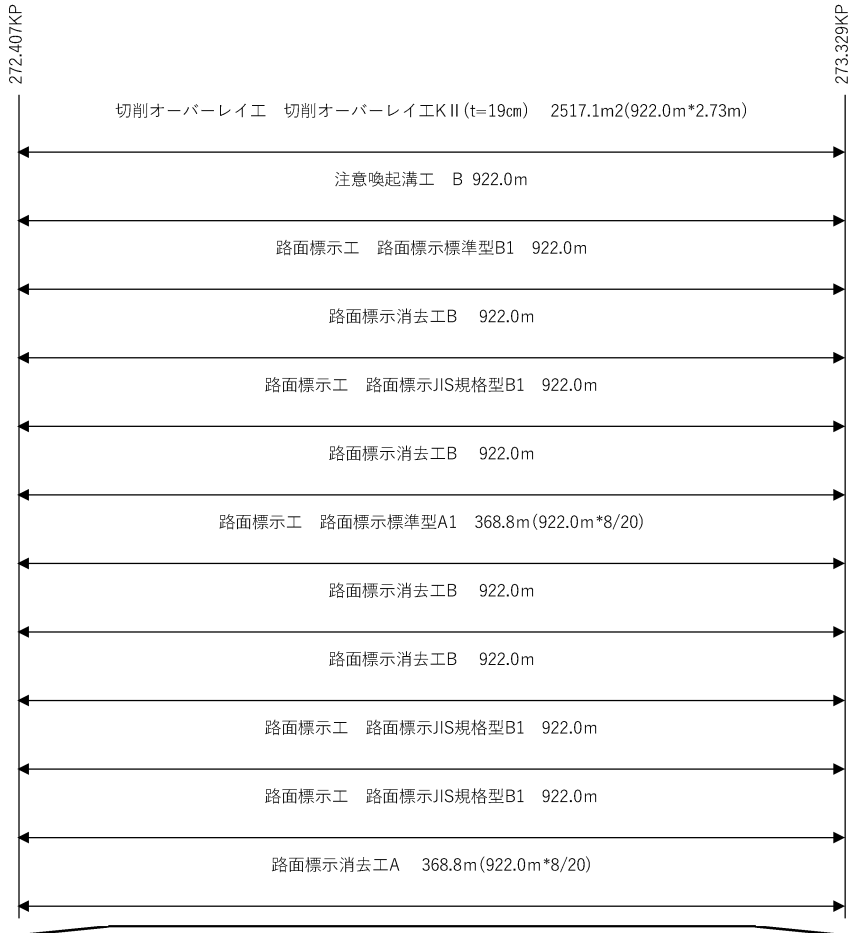
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋(下り線) 渡り車線施工図
縮 尺	— 図面番号 004 / 008
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

新産ヶ沢橋(上り線)

渡り車線施工図

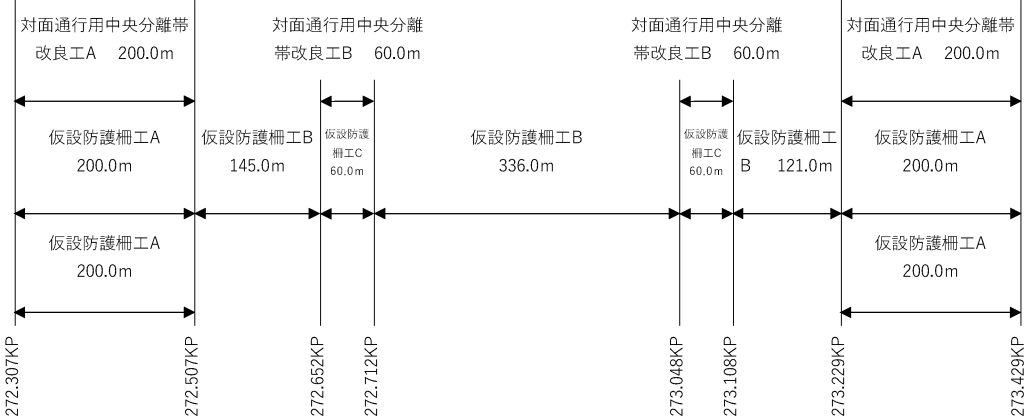
数量表

項目名	数量	単位	備考
切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ (t=19cm)	2517.1	m2	
路面標示工 路面標示標準型A1	368.8	m	
路面標示工 路面標示標準型B1	922.0	m	
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	2766.0	m	
注意喚起溝工 B	922.0	m	
路面標示消去工A	368.8	m	
路面標示消去工B	3688.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工A	400.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工B	120.0	m	
仮設防護柵工A	800.0	m	
仮設防護柵工B	602.0	m	
仮設防護柵工C	120.0	m	



対面通行用中央分離帯改良工数量内訳表										
【新産ヶ沢橋 上り】										
項 目	表層	基層	土層筋層	路面切削	路面標示	防護柵	低光防止板	仮設防護柵	距離柵	備 考
	t=4cm ㎡	t=6cm ㎡	t=20cm ㎡	m³	JIS型 B1 m	撤去 m	撤去 基	撤去 基	撤去 枚	
中分改良位置	200 m									
272.307 KP ～ 272.507 KP	880	900	920	75	800	200	101	15	2	
中分改良工B	60 m									
272.652 KP ～ 272.712 KP	264	270	276	22	240	60	16	1	1	
中分改良工B	60 m									
273.048 KP ～ 273.108 KP	264	270	276	22	240	60	16	1	1	
中分改良工A	200 m									
273.229 KP ～ 273.429 KP	880	900	920	75	800	200	51	3	2	

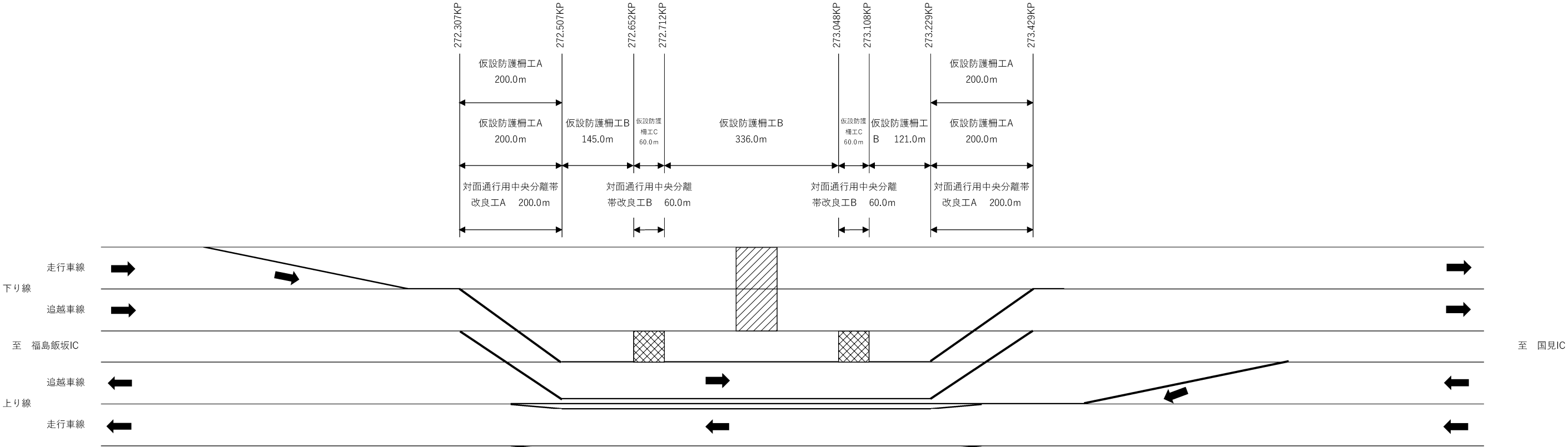
※1. コンクリート製防護柵延長



東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	新産ヶ沢橋(上り線) 渡り車線施工図
縮 尺	— 図面番号 005 / 008
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

新産ヶ沢橋(下り線)

渡り車線施工図



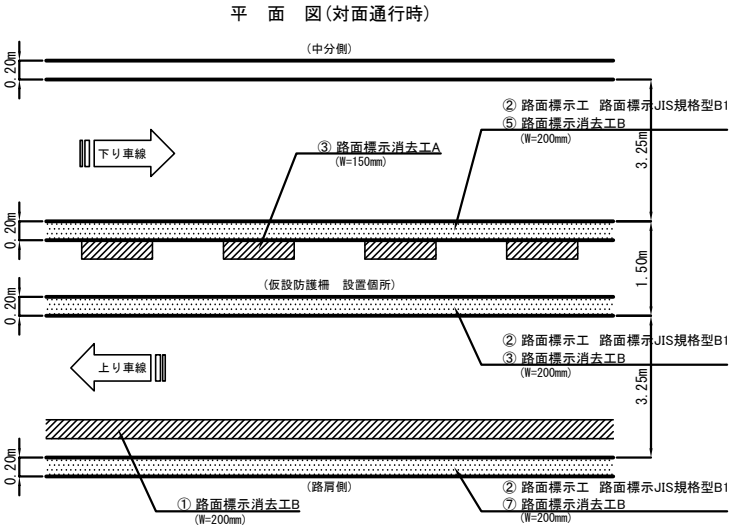
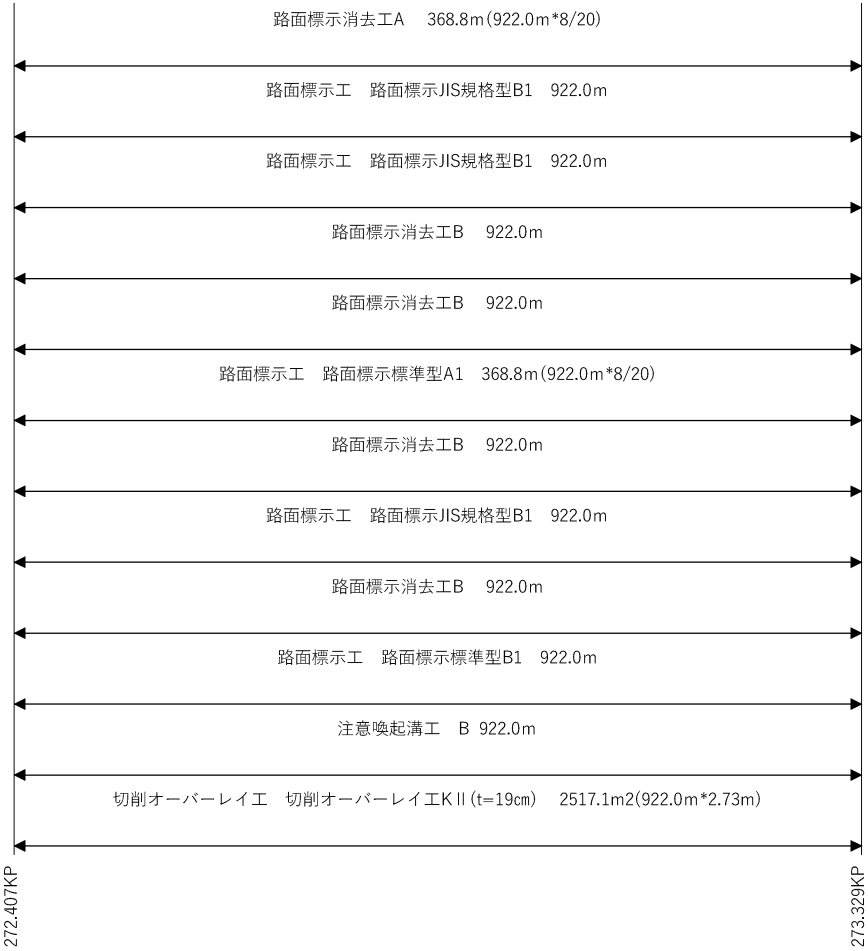
数量表

項目名	数量	単位	備考
切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工K II (t=19cm)	2517.1	m2	
路面標示工 路面標示標準型A1	368.8	m	
路面標示工 路面標示標準型B1	922.0	m	
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	2766.0	m	
注意喚起溝工 B	922.0	m	
路面標示消去工A	368.8	m	
路面標示消去工B	3688.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工A	400.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工B	120.0	m	
仮設防護柵工A	800.0	m	
仮設防護柵工B	602.0	m	
仮設防護柵工C	120.0	m	

対面通行用中央分離帯改良工数量内訳表

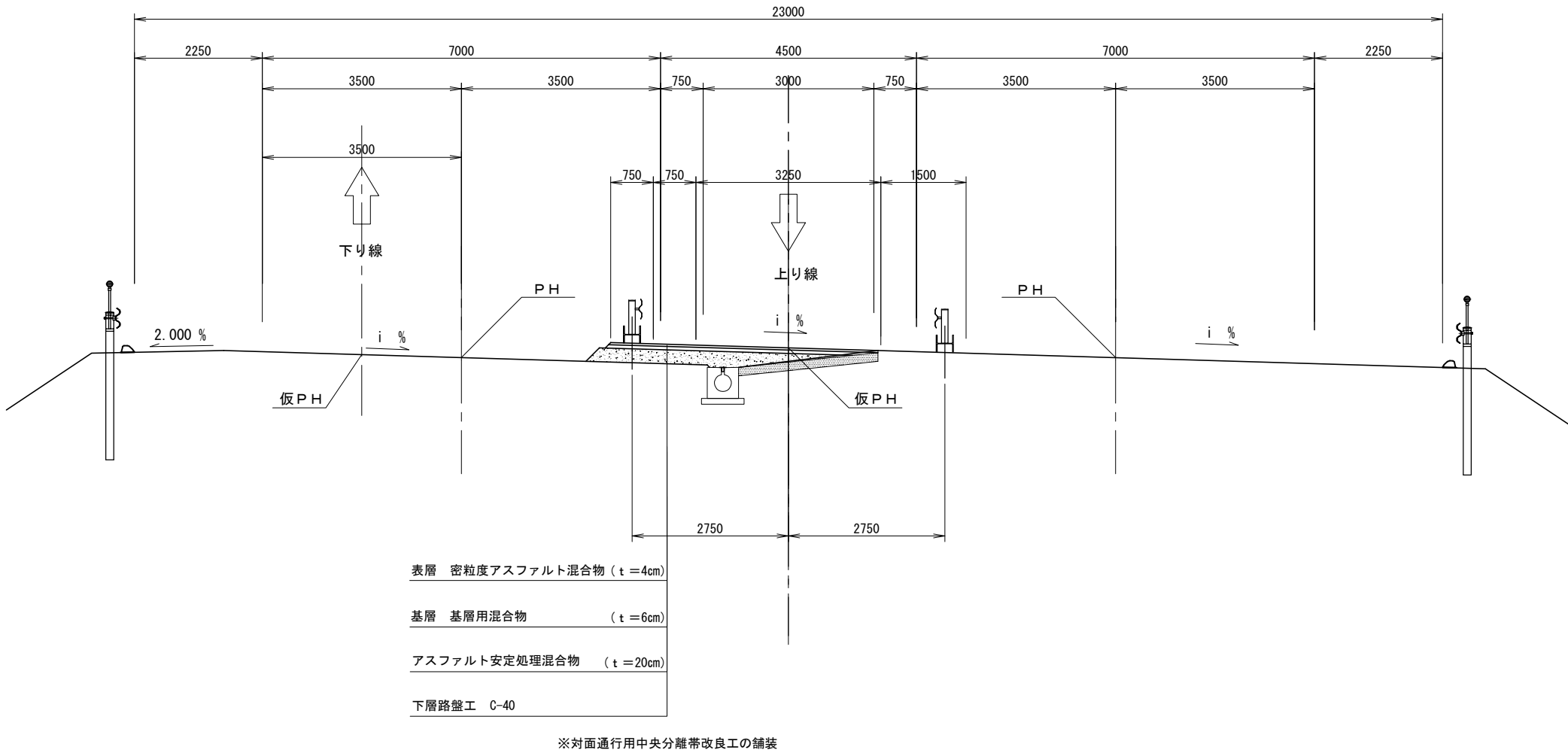
【新産ヶ沢橋 下り】											備 考
項 目	基準	基準	上層路盤	路面切削	路面標示	防護柵	断光防止柵	視線誘導柵	距離柵		
	t=4cm	t=6cm	t=20cm		JIS型 B1	復旧	復旧	復旧	復旧		
	m	m	m	m³	m	m	基	基	枚		
中央改良位置	200 m										
中央改良工A	272.307 KP ～ 272.507 KP	880	900	920	75	800	200	101	15	2	
中央改良工B	272.652 KP ～ 272.712 KP	264	270	276	22	240	60	16	1	1	
中央改良工B	273.048 KP ～ 273.108 KP	264	270	276	22	240	60	16	1	1	
中央改良工A	273.229 KP ～ 273.429 KP	880	900	920	75	800	200	51	3	2	

※1、コンクリート製防護柵延長

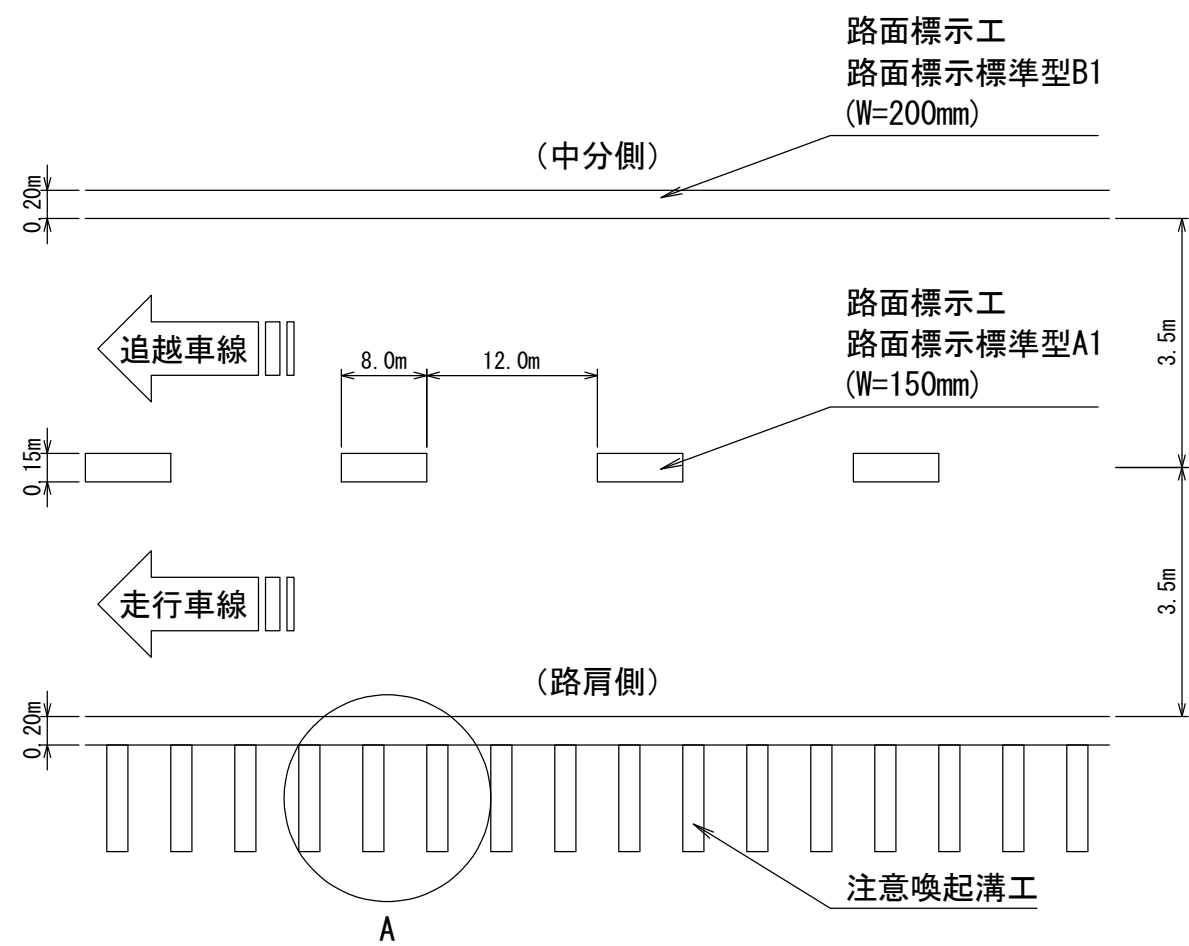


東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	新産ヶ沢橋(下り線) 渡り車線施工図
縮 尺	— 図面番号 006 / 008
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

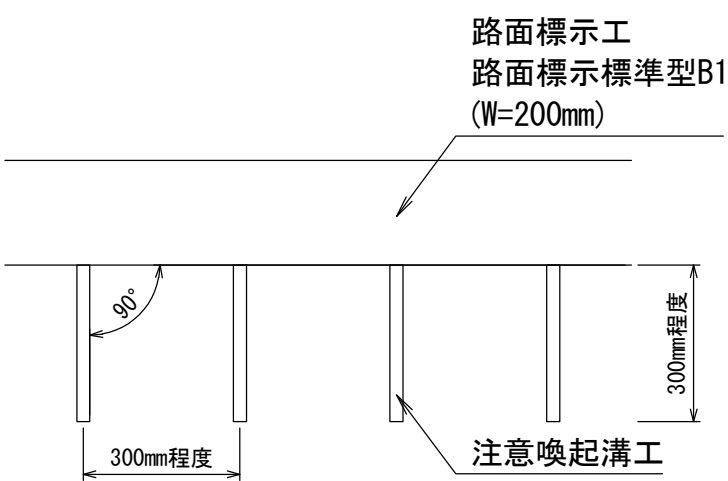
対面通行用中央分離帯改良工 標準横断面図 S=1:100



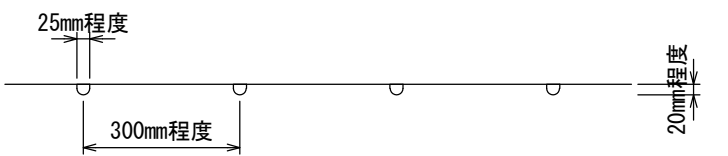
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用中央分離帯改良工 標準横断面図		
縮 尺	図示	図面番号	007 / 008
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



A部拡大図



A部断面図



数量表				100m当り
項目	単位	数量	摘要	
路面標示標準型A1	m	40.0	破線 W=15cm	
路面標示標準型B1	m	200.0	実線 W=20cm	
注意喚起溝工A	m	100.0		

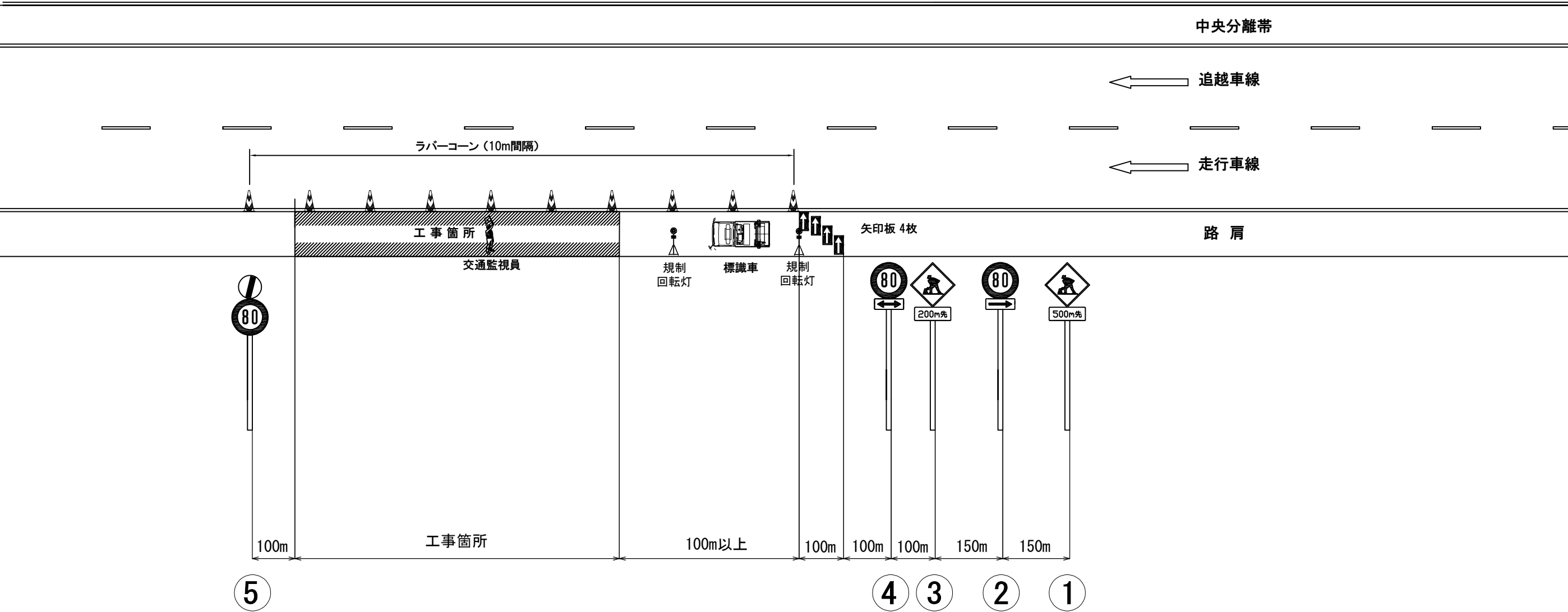
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	注意喚起溝工図		
縮 尺	—	図面番号	008 / 008
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

交通規制工

圖 面 目 次

[illegible]

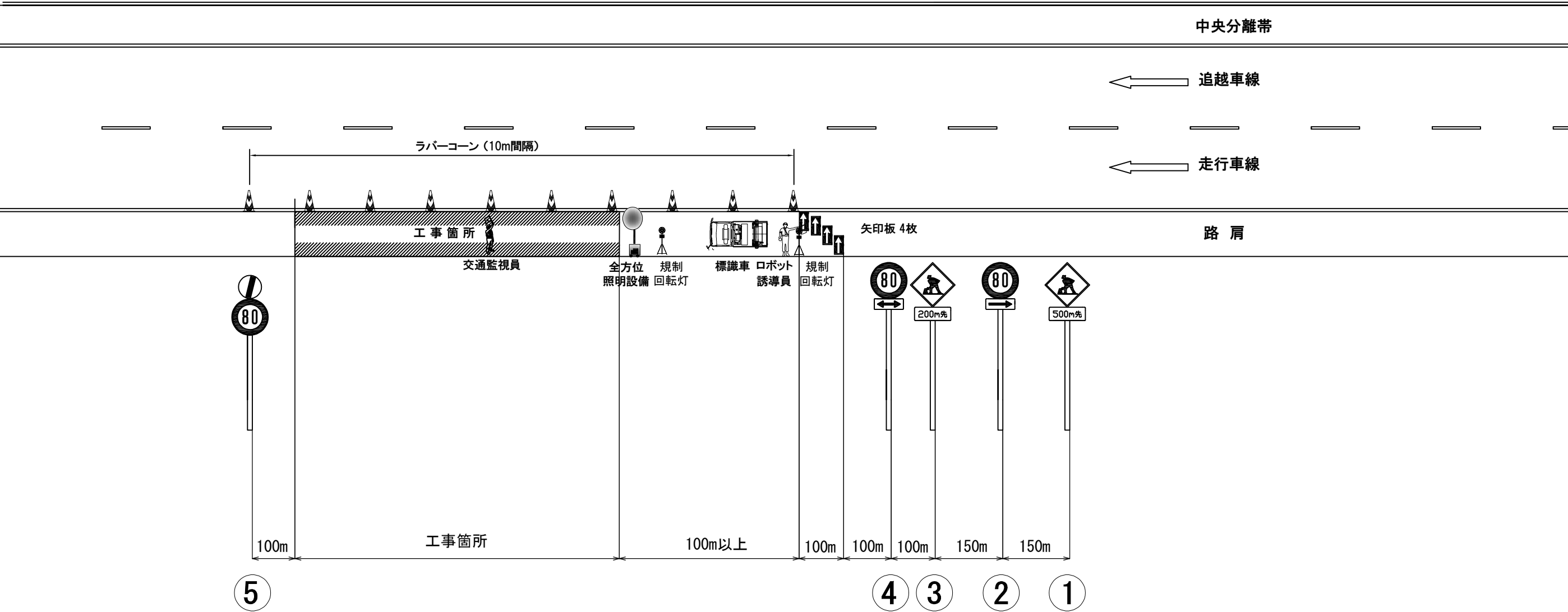
路肩規制(昼夜間連続)(福島県)(福島西IC以南)



※1. ラバーコーンは、10m間隔で設置する。(作業場所以外は20m間隔)
※2. テーパー部の矢印板は、車線に対して直角に設置する。
※3. 標識はガードレール・ケーブル等に取り付金具等でしっかり固定すること。

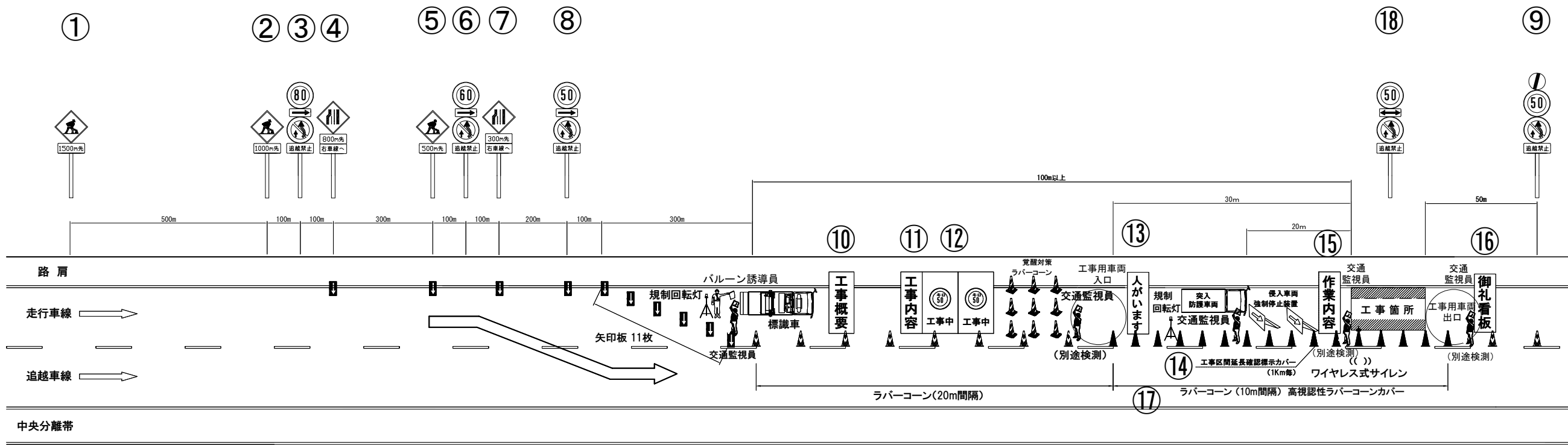
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	路肩規制(昼間)(福島県)		
縮尺	—	図面番号	001 / 014
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

路肩規制(昼夜間連続)(福島県)(福島西IC以北)



※1. ラバーコーンは、10m間隔で設置する。(作業場所以外は20m間隔)
※2. テーパー部の矢印板は、車線に対して直角に設置する。
※3. 標識はガードレール・ケーブル等に取り付金具等でしっかり固定すること。

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	路肩規制(夜間)(福島県)		
縮 尺	—	図面番号	002 / 014
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

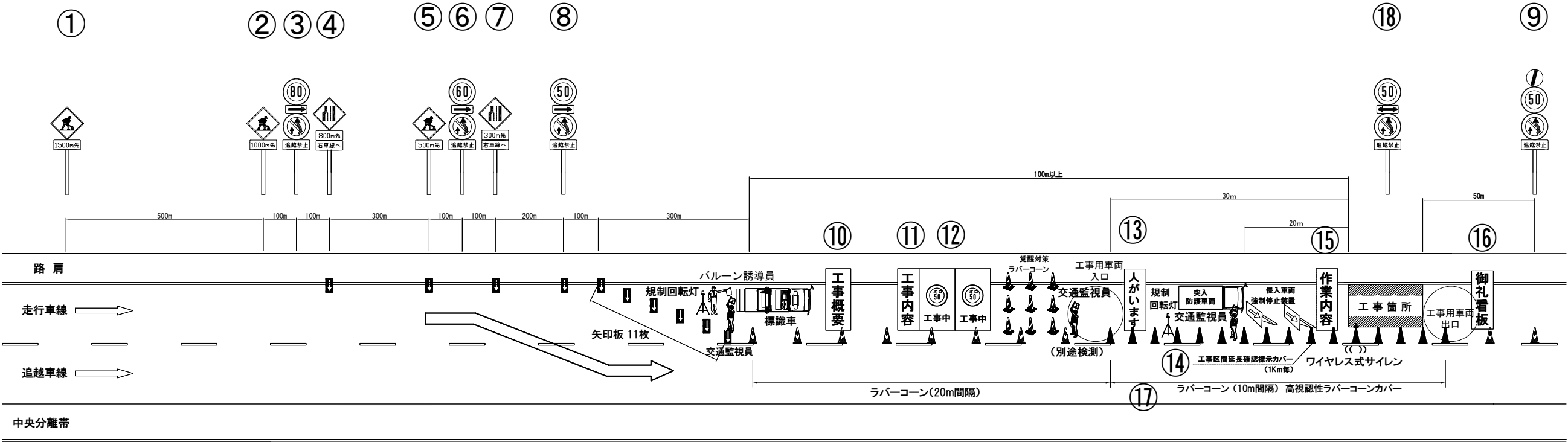


※ 当規制図は、簡易情報板設置・撤去時、足場材搬入・搬出以外の作業時に適用する。

規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区 分		備 考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑨、⑬	9+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑧	15	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	テーパー部、工事箇所の手前	2	基	○		
パルーン誘導員	—	テーパー部	1	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑩	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○		
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入防護車両	現場乗込車両 4 t 車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○		
侵入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	2	台	○		
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑭規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
規制延長確認標示看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑭規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
作業内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑮	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	—	工事箇所	1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
高視認性ラバーコーンカバー	—	図中番号⑰ラバーコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	車線規制(昼間・走行)(その1)		
縮 尺	—	図面番号	003 / 014
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



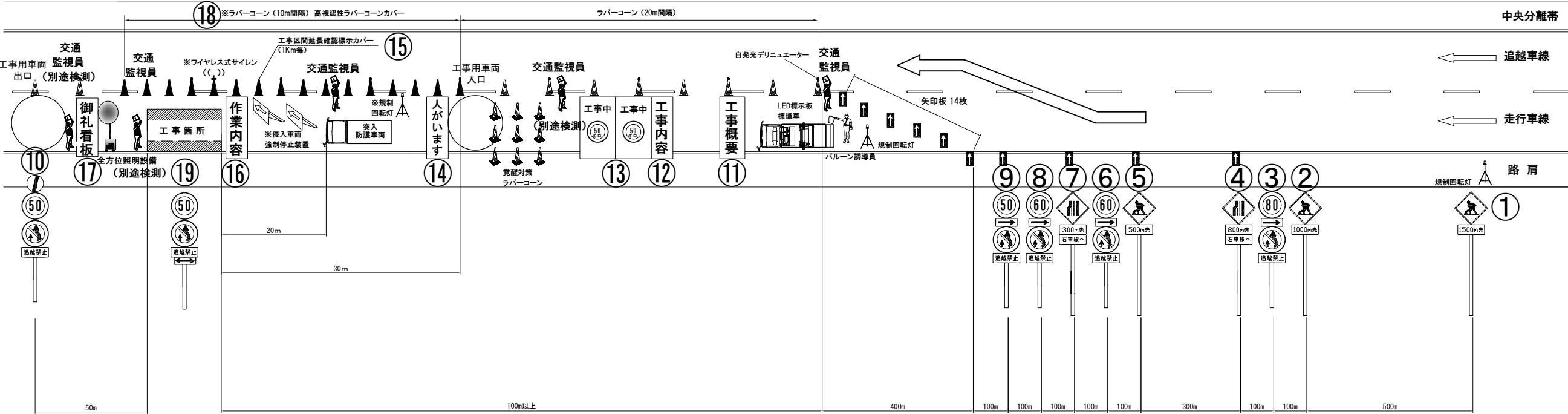
※ 当規制図は、簡易情報板設置・撤去時、足場材搬入・搬出作業時に適用する。

規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区 分		備 考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑨、⑮	9+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑧	15	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	テーパー部、工事箇所の手前	2	基	○		
パルーン誘導員	—	テーパー部	1	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		センターラインにて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑩	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○		
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入防護車両	現場乗込車両4 t 車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○		
侵入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	2	台	○		
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑭規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
規制延長確認標示看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑭規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
作業内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑮	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	—	工事箇所	1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
高視認性ラバーコーンカバー	—	図中番号⑰ラバーコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事		
図面の種類	車線規制(昼間・走行)(その2)	
縮 尺	—	図面番号 004 / 014
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所	

車線規制(夜間・走行)(その1)



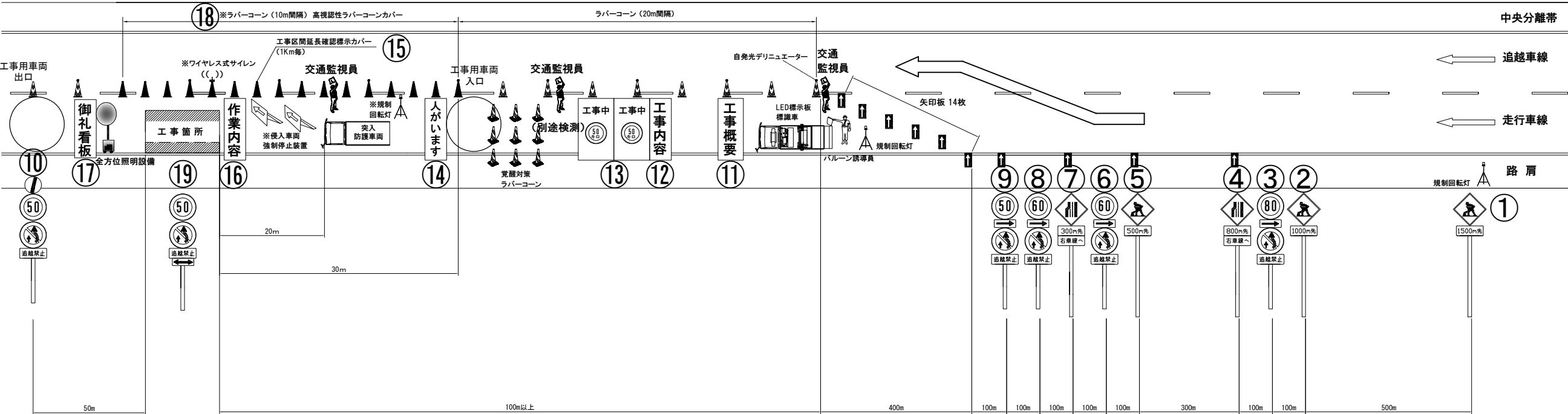
※ 当規制図は、簡易情報板設置・撤去以外の作業時に適用する。

規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区 分		備 考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬	9+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬の規制標識頭部に設置	9+N※	個	○		
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑨	18	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	図中番号①手前、テーパー部、工事箇所の手前	3	基	○		
バルーン誘導員	—	テーパー部	1	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニューエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○		
「人があります」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入防護車両	現場乗込車両4 t 車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○		
侵入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	2	台	○		
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑮規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
規制延長確認標示看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑮規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
作業内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	—	工事箇所	1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバーコーンカバー	—	図中番号⑱ラバーコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		
自発光デリニューエーター	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	車線規制(夜間・走行)(その1)
縮 尺	— 図面番号 005 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

車線規制(夜間・走行)(その2)



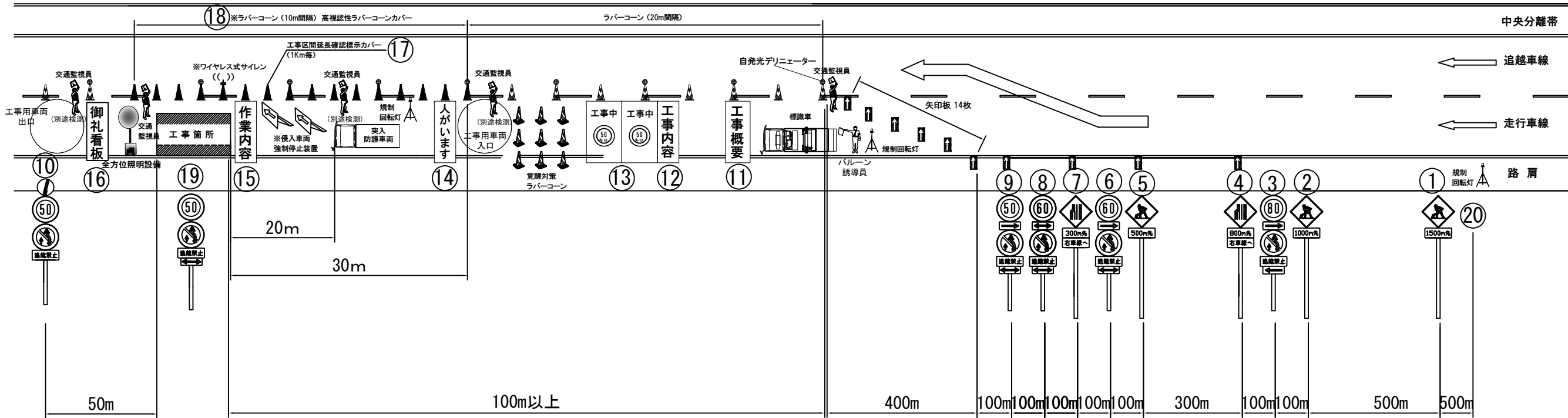
※ 当規制図は、簡易情報板設置・撤去作業時に適用する。

規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区 分		備 考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬	9+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬の規制標識頭部に設置	9+N※	個	○		
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑨	18	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	図中番号①手前、テーパー部、工事箇所の手前	3	基	○		
バルーン誘導員	—	テーパー部	1	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニュエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○		
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入防護車両	現場乗込車両 4 t 車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○		
侵入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	2	台	○		
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑮規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
規制延長確認標示看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑮規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
作業内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	—	工事箇所	1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバーコーンカバー	—	図中番号⑱ラバーコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		
自発光デリニュエーター	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事		
図面の種類	車線規制(夜間・走行)(その2)	
縮 尺	—	図面番号 006 / 014
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所	

車線規制(昼夜間連続・走行) (福島県)



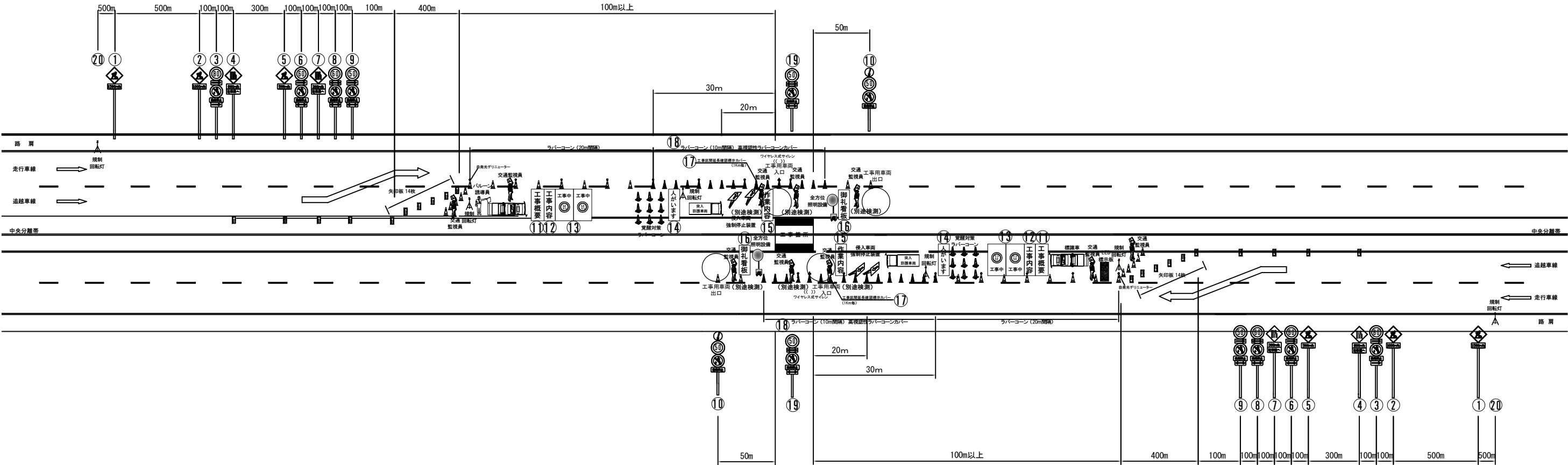
規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置個所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬	10+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯		図中番号①～⑩、⑬の規制標識頭部に設置	10+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	レーパー部、図中番号④⑤⑦⑨	18	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	図中番号②③手前、レーパー部、工事箇所の手前	3	基	○		
バルーン誘導員	—	レーパー部	1	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間10m、20m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニューエータ	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 ×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○		
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4t車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550 ×H1400 高輝度反射	図中番号⑮	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 ×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑰規制終了箇所までの延長1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100×H1400 高輝度反射	分流部に設置(分流部を含む場合)	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバーコーンカバー		図中番号⑱ラバーコーンを10m隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

※休工時の交通監視員(別途検測)および交通誘導警備員の配置は不要とする。

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	車線規制 (昼夜間連続・走行) (福島県)
縮 尺	— 図面番号 007 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

中央分離帯規制(昼夜間連続) (福島県)



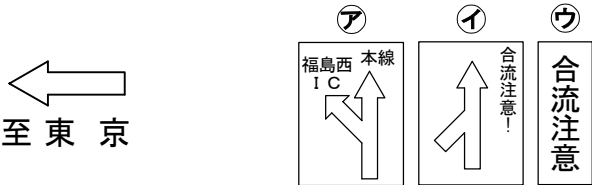
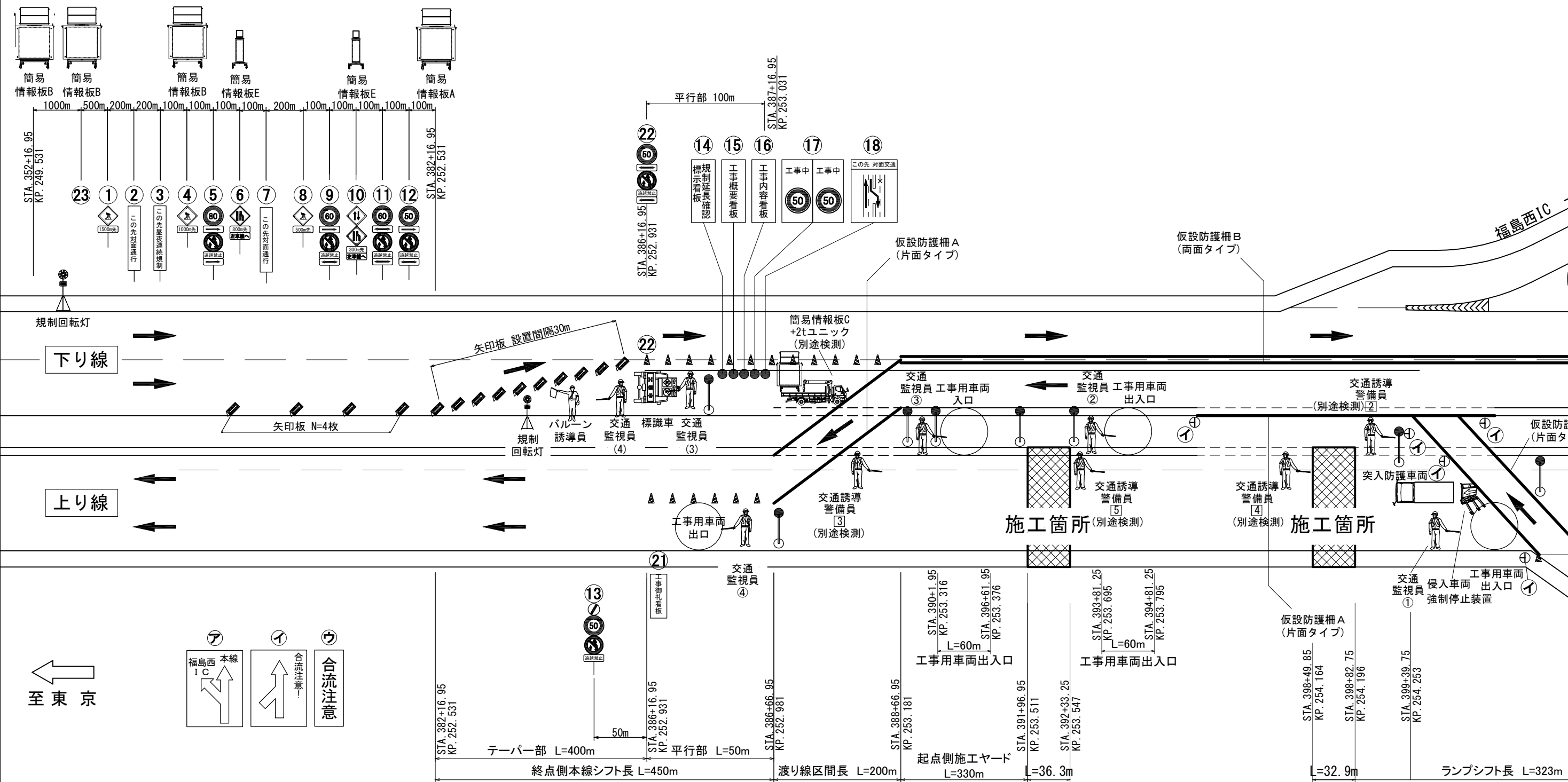
規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置個所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑱	20+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯		図中番号①～⑩、⑱の規制標識頭部に設置	20+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑨	36	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	図中番号⑳手前、テーパー部、工事箇所の手前	6	基	○		
バルーン誘導員	—	テーパー部	2	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	2	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間10m、20m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニューエータ	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 ×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	4	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	18	本	○		
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑭	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4t車程度を配置	工事箇所の手前	2	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	4	台	○		
作業内容説明看板	W550 ×H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		2	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 ×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑰規制終了箇所までの延長1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100×H1400 高輝度反射	分流部に設置(分流部を含む場合)	必要数	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバーコーンカバー		図中番号⑱ラバーコーンを10m隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

※休工時の交通監視員(別途検測)および交通誘導警備員の配置は不要とする。

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	中央分離帯規制(昼夜間連続) (福島県)
縮 尺	— 図面番号 008 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

対面通行規制(昼夜間連続)(その1)
(大森川橋・松塚川橋 上り線床版取替 本体工施工時)

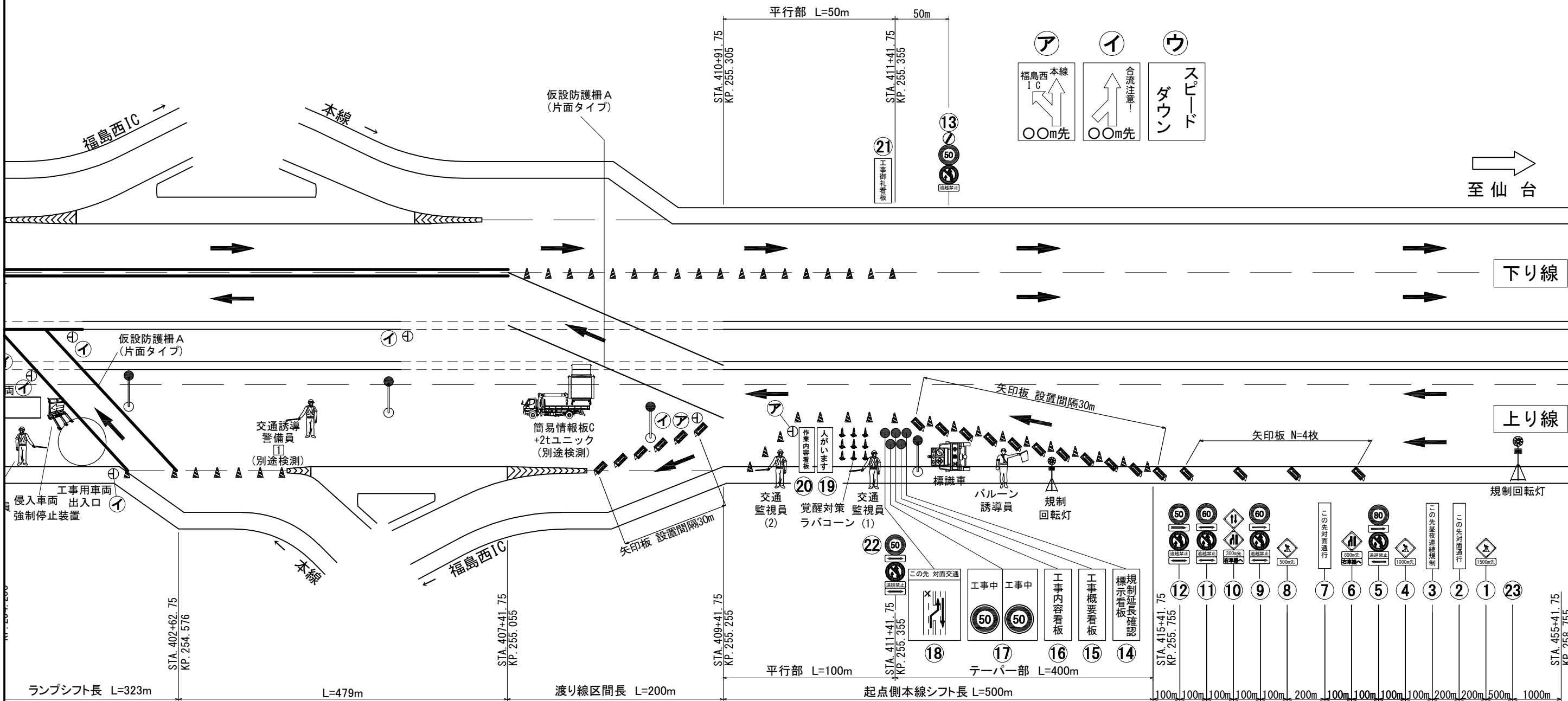


	(1)～(4)	①～④
交通監視員	規制工に含む	別途検測

※休工時の交通監視員(別途検測)および交通誘導警備員の配置は不要とする。

東北自動車道 新座ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	対面通行規制(昼夜間連続)(その1) (大森川橋・松塚川橋 上り線床版取替 本体工施工時)
縮 尺	- 図面番号 009 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

対面通行規制(昼夜間連続)(その2)
(大森川橋・松塚川橋 上り線床版取替 本体工施工時)

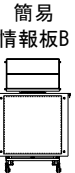
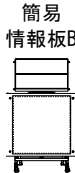
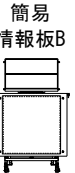


規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区 分	備 考
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑬、⑲	26+N※	本	○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯	高輝度反射	図中番号①～⑬、⑲の標識頭部に設置	26+N※	個	○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号⑥⑧⑩⑫	36+N※	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	図中番号⑭手前、テーパー部	4	基	○	
バルーン誘導員	—	テーパー部	2	基	○	
標識車	2t車	規制起点部	2	台	○	
ラバコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○	センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニューター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○	センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
規制延長確認標示看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	2	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	2	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	4	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
この先対面通行	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	2	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑲	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4t車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○	
進入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	1	台	○	
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑳	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		2	台	○	
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号㉑	2	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置(分流部を含む場合)	4	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○	

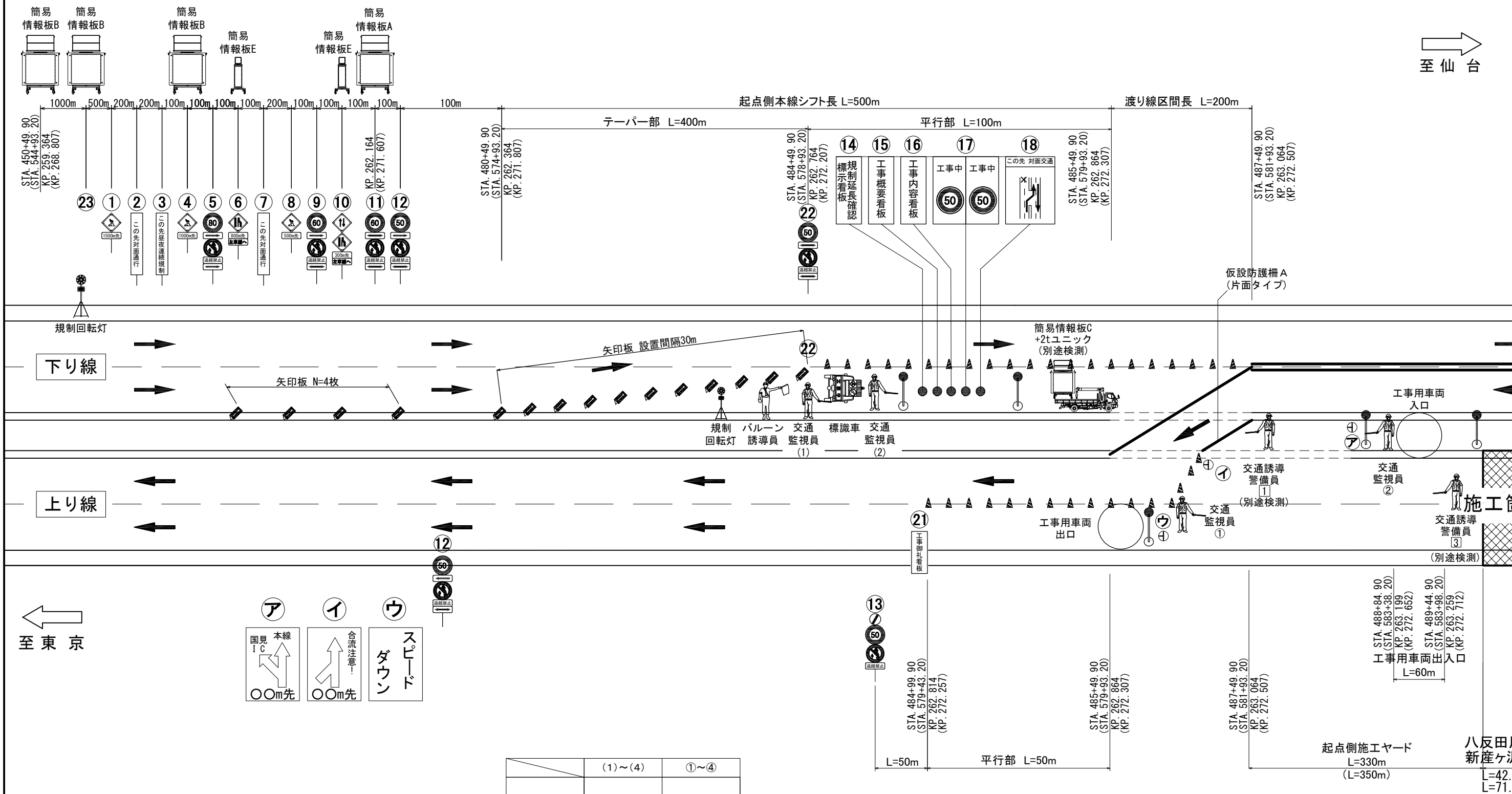
安全対策工凡例

図 柄	種 別
	簡易情報板A: 監視カメラ・渋滞監視 センサー付き 簡易情報板B: 渋滞監視 センサー付き 簡易情報板C: 対面通行規制内
	簡易情報板E: (渋滞発生時、ファスナー合流を案内) ※ テーパー始点の約300・800m手前 に設置



東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	対面通行規制(昼夜間連続)(その2) (大森川橋・松塚川橋 上り線床版取替 本体工施工時)
縮 尺	— 図面番号 010 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

対面通行規制(昼夜間連続)(その1)
(八反田川橋・新産ヶ沢橋 上り線床版取替 本体工施工時)

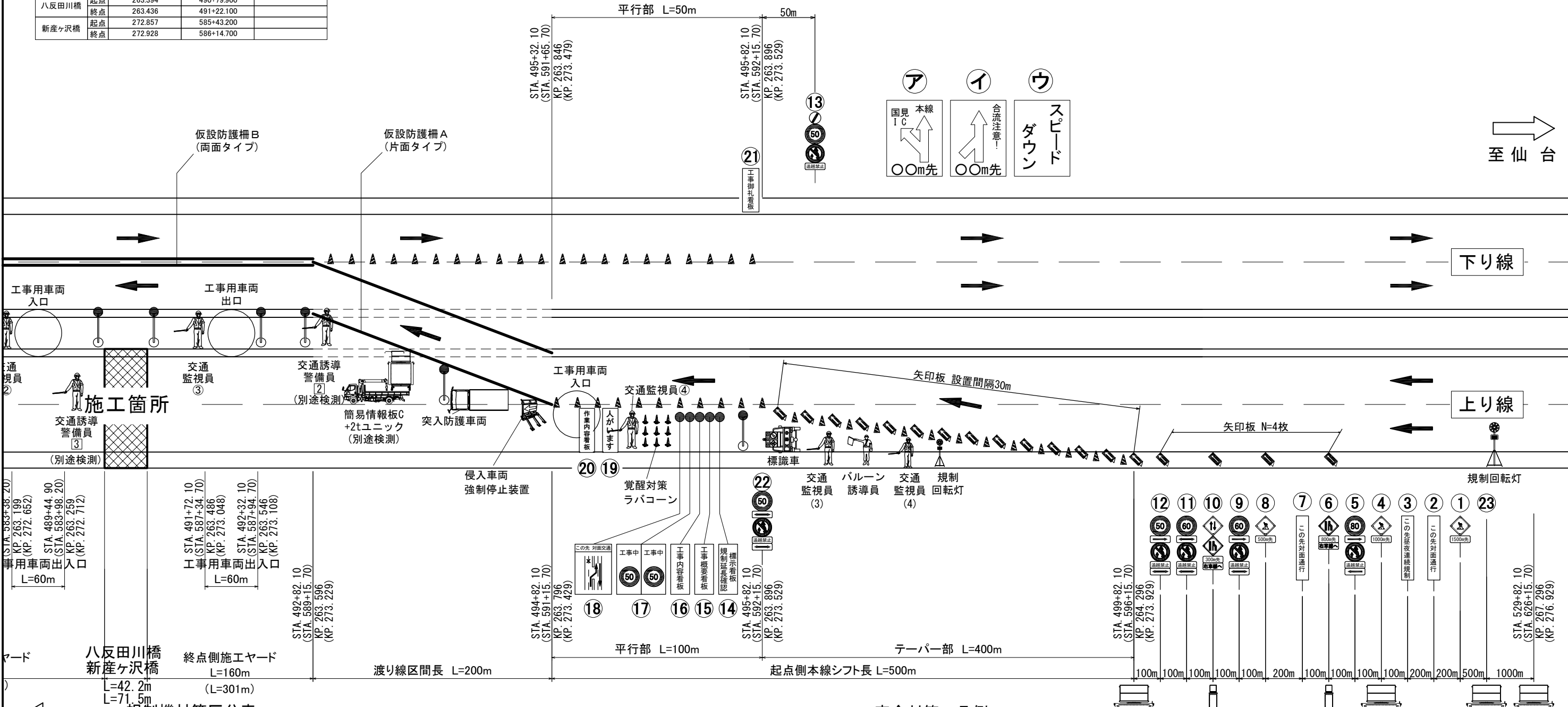


※1.休工時の交通監視員(別途検測)および交通誘導警備員の配置は不要とする。
※2.()内の数値、測点は新産ヶ沢橋を示す。

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行規制(昼夜間連続)(その1) (八反田川橋・新産ヶ沢橋 上り線床版取替 本体工施工時)		
縮 尺	-	図面番号	011 / 014
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

対面通行規制(昼夜間連続)(その2)
(八反田川橋・新産ヶ沢橋 上り線床版取替 本体工施工時)

橋梁	測点	KP.	STA.	備考
八反田川橋	起点	263.394	490+79.900	
	終点	263.436	491+22.100	
新産ヶ沢橋	起点	272.857	585+43.200	
	終点	272.928	586+14.700	



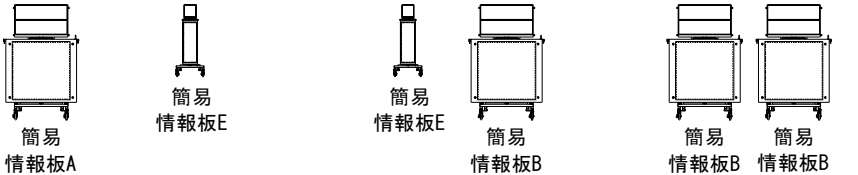
至 東 京

規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置個所	数量	単位	区 分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑬、⑯	26+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基づつ追加
自発光点滅灯		図中番号①～⑬、⑯の標識頭部に設置	26+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基づつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号⑥⑧⑩⑪	36+N※	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	図中番号⑬手前、テーパー部	4	基	○		
パルーン誘導員	—	テーパー部	2	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	2	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニューター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
規制延長確認標示看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	4	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
この先対面通行	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○		
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑲	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入防護車両	現場乗入車両4t車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	1	台	○		
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑳	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所		2	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号㉑	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置(分流部を含む場合)	4	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		

安全対策工凡例

図 柄	種 別
	簡易情報板A: 監視カメラ・渋滞監視 センサー付き 簡易情報板B: 渋滞監視 センサー付き 簡易情報板C: 対面通行規制内
	簡易情報板E: (渋滞発生時、ファスナー合流を案内) ※ テーパー起点の約300・800m手前 に設置



※ () 内の数値、測点は新産ヶ沢橋を示す。

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	対面通行規制(昼夜間連続)(その2) (八反田川橋・新産ヶ沢橋 上り線床版取替 本体工施工時)
縮 尺	— 図面番号 012 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

[illegible]

安全対策工凡例	
図 柄	種 別
	簡易情報板A: 監視カメラ・渋滞監視 センサー付き 簡易情報板B: 渋滞監視 センサー付き 簡易情報板C: 対面通行規制内
	簡易情報板E: (渋滞発生時・フラスナー合流を案内) ※ テーパー始点の約300・800m手前 に設置

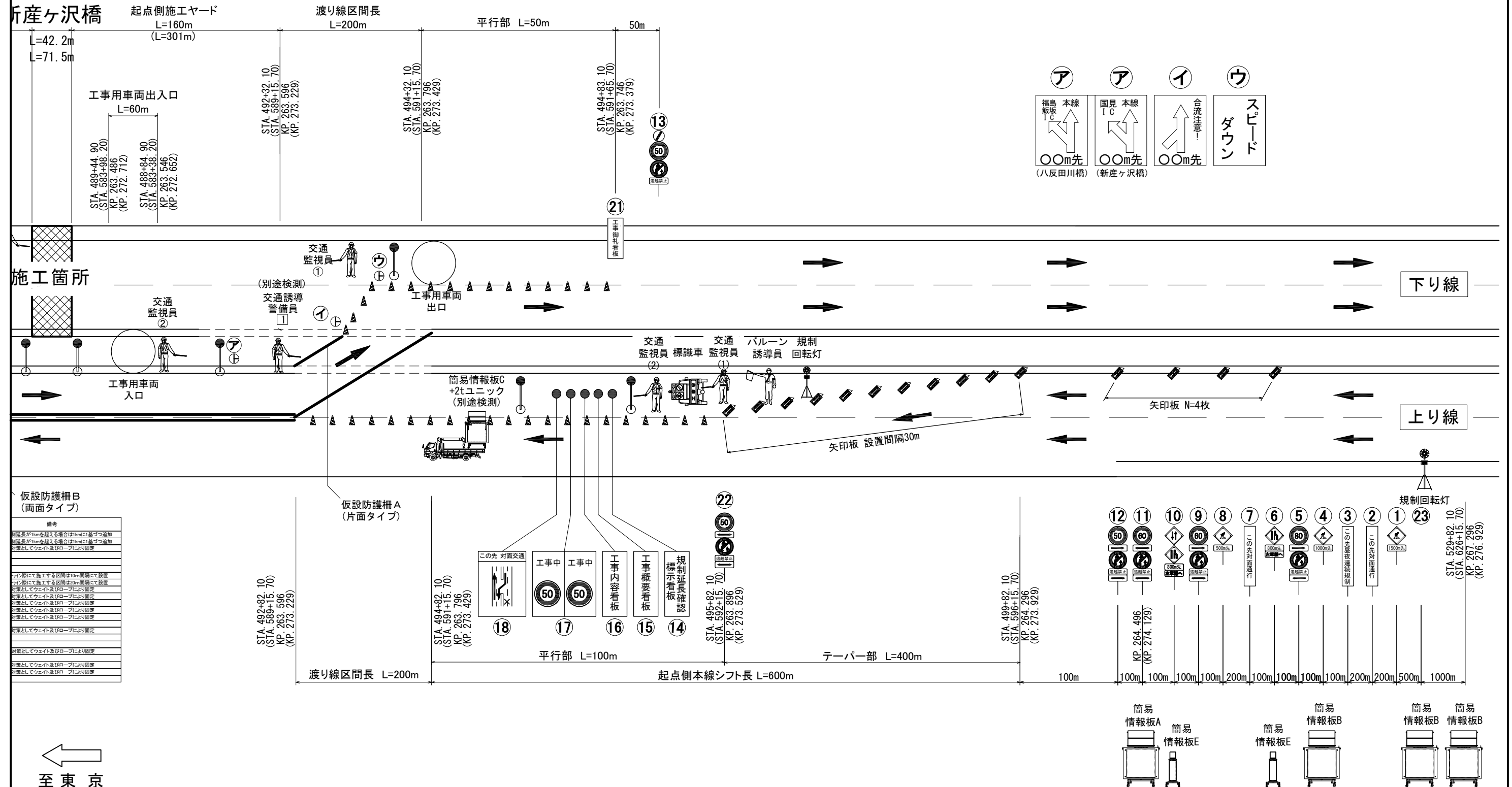
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事		
図面の種類	対面通行規制(昼夜間連続)(その1) (八反田川橋・新産ヶ沢橋 下り線床版取替 本体施工時)	
縮 尺	—	図面番号 013 / 014
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所	

※1.休工時の交通監視員(別途検測)および交通誘導警備員の配置は不要とする。
 ※2.()内の数値、測点は新産ヶ沢橋を示す。

対面通行規制(昼夜間連続)(その2)
(八反田川橋・新産ヶ沢橋 下り線床版取替 本体工施工時)

橋梁 \ 測点	KP.	STA.	備考
八反田川橋	起点	263.394	490+79.900
	終点	263.436	491+22.100
新産々沢橋	起点	272.857	585+43.200
	終点	272.928	586+14.700

橋川田反
橋沢ヶ産新



※ () 内の数値、測点は新産ヶ沢橋を示す。

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	対面通行規制(昼夜間番通) (その2) 八反田川橋・新産ヶ沢橋 下り線床版取替 本体施工時工)
縮 尺	— 図面番号 014 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

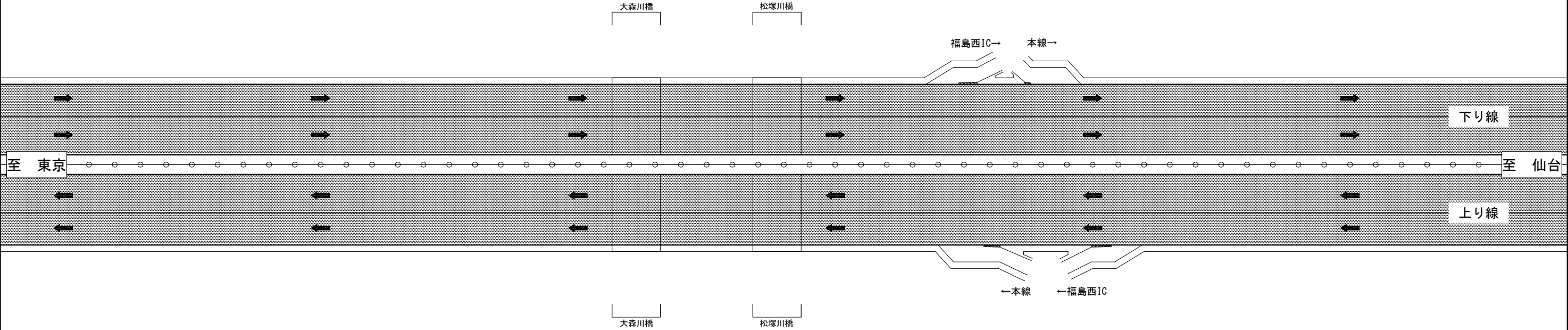
ステップ図

圖 面 目 次

[illegible]

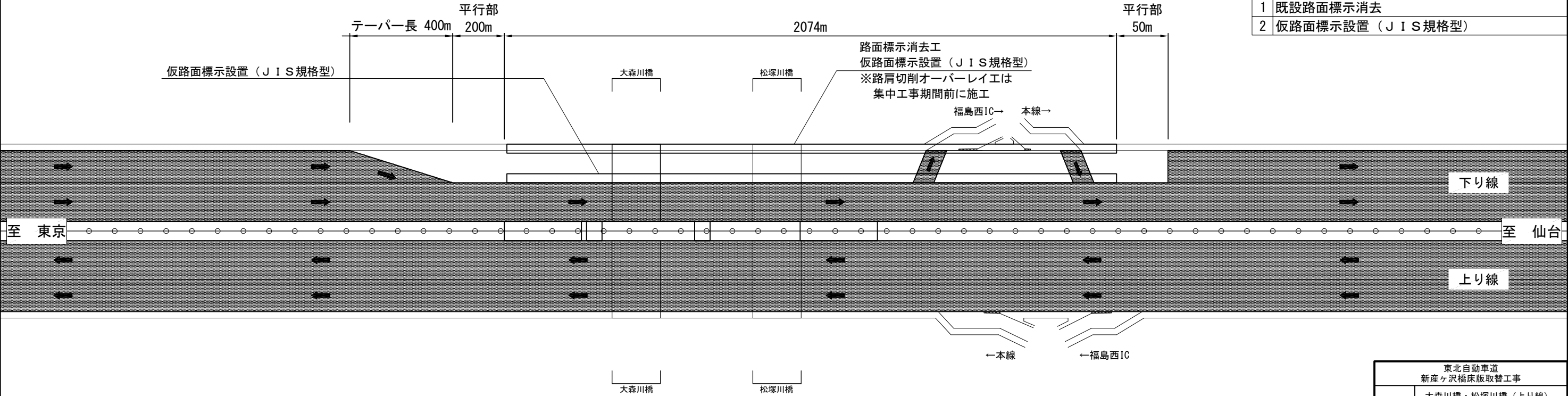
現 況 図



工事内容(参考)	
1	調査工
2	吊り足場設置



施工ステップ①

工事内容(参考)	
1	既設路面標示消去
2	仮路面標示設置（ＪＩＳ規格型）

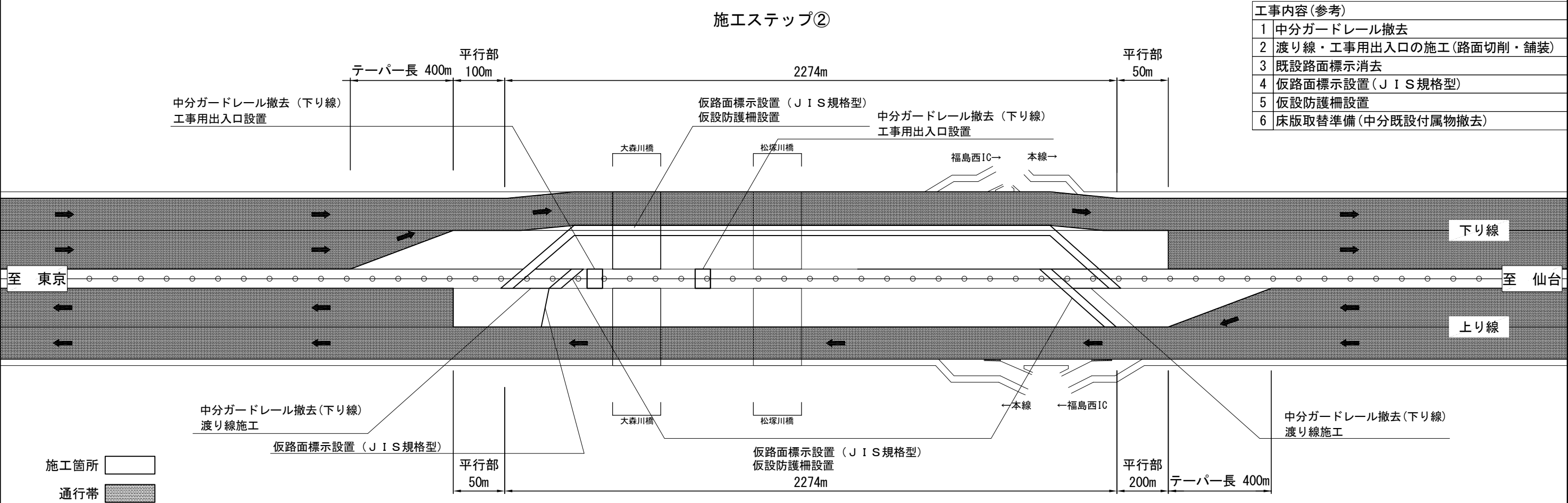


施工箇所 
通行帯 

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	大森川橋・松塚川橋（上り線） ステップ図(1)		
縮 尺	—	図面番号	001 / 012
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

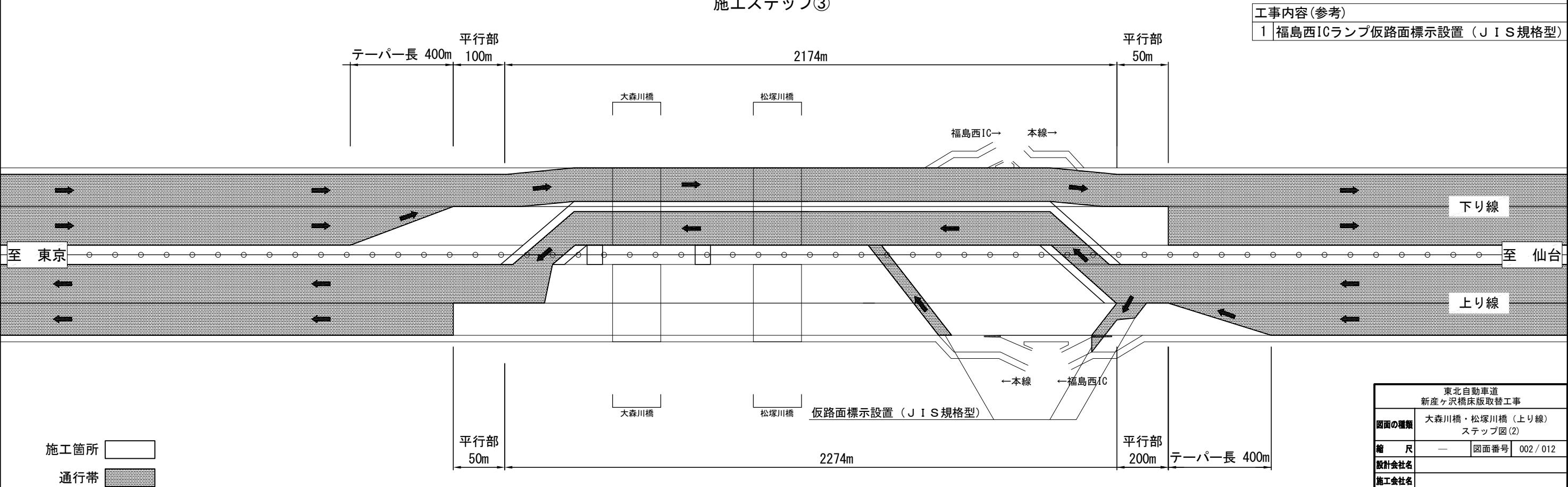
大森川橋・松塚川橋（上り線） 施工ステップ図（2）

施工ステップ②



工事内容(参考)	
1	中分ガードレール撤去
2	渡り線・工事用出入口の施工(路面切削・舗装)
3	既設路面標示消去
4	仮路面標示設置(JIS規格型)
5	仮設防護柵設置
6	床版取替準備(中分既設付属物撤去)

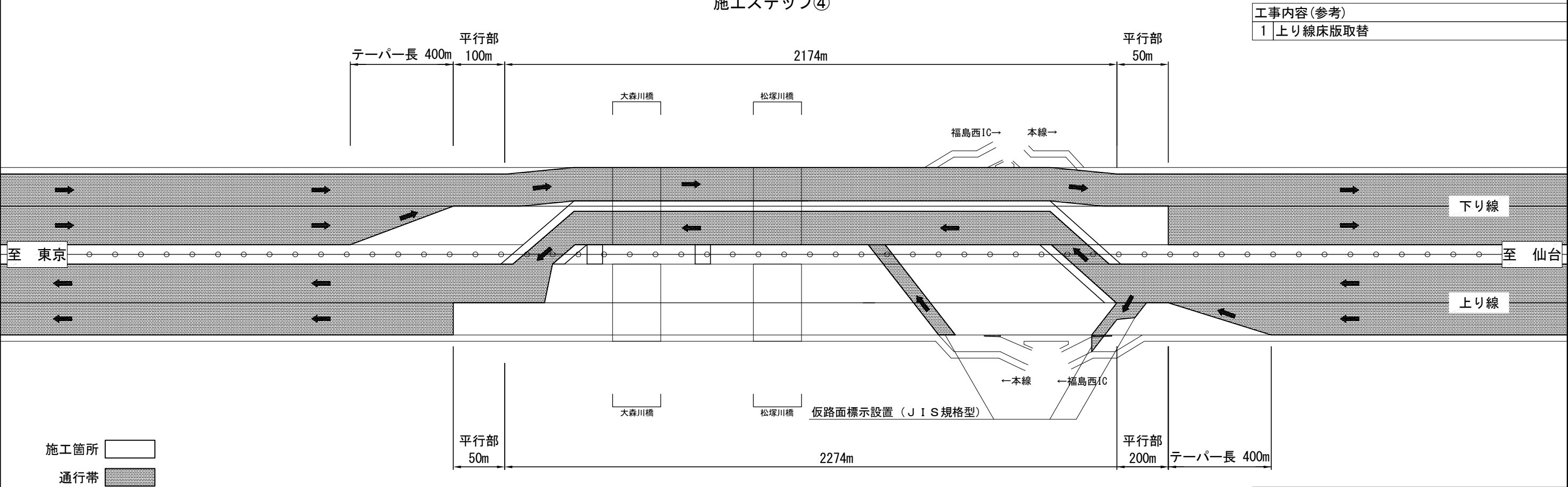
施工ステップ③



工事内容(参考)	
1	福島西ICランプ仮路面標示設置（JIS規格型）

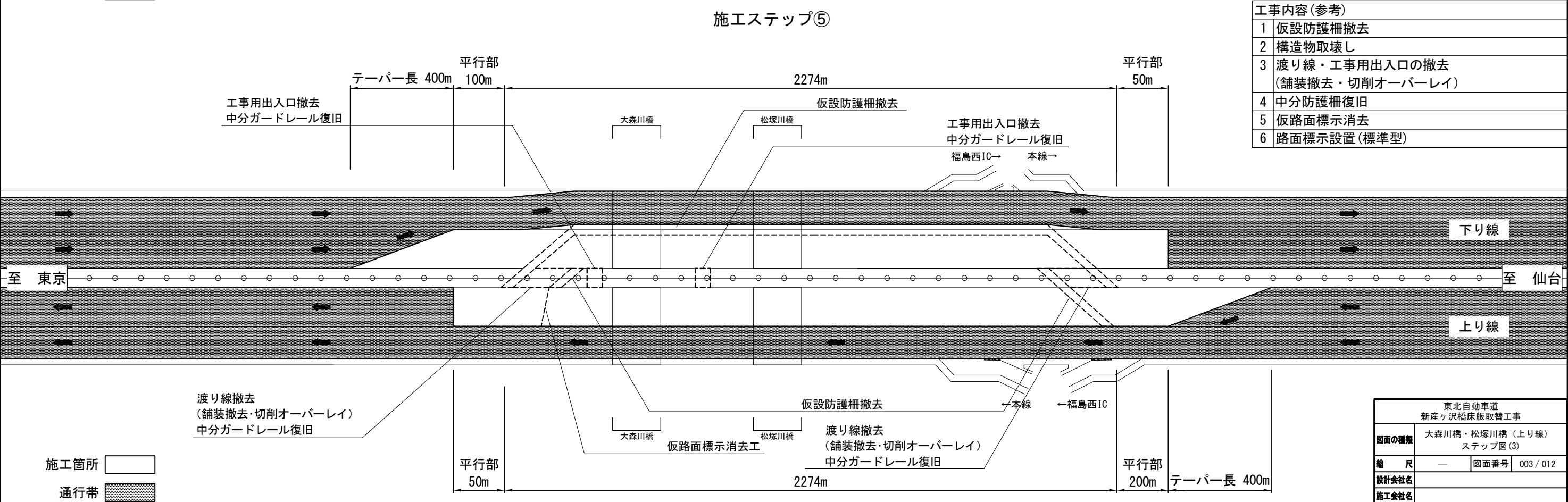
東北自動車道 新座ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	大森川橋・松塚川橋（上り線） ステップ図(2)
縮 尺	— 図面番号 002 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

施工ステップ④



工事内容(参考)	
1	上り線床版取替

施工ステップ⑤



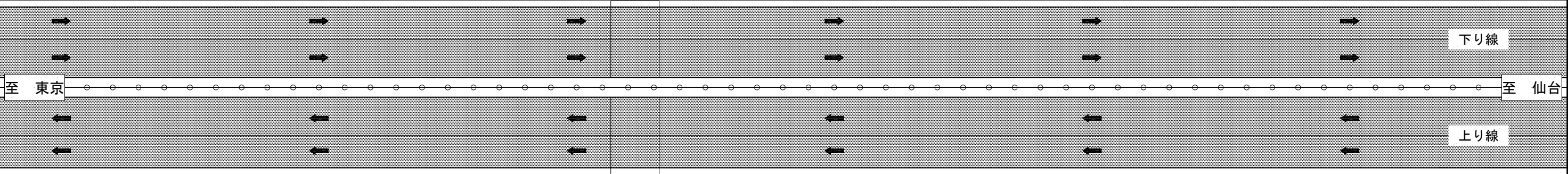
工事内容(参考)	
1	仮設防護柵撤去
2	構造物取壊し
3	渡り線・工事用出入口の撤去 (舗装撤去・切削オーバーレイ)
4	中分防護柵復旧
5	仮路面標示消去
6	路面標示設置(標準型)

東北自動車道 新座ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	大森川橋・松塚川橋（上り線） ステップ図(3)
縮 尺	— 図面番号 003 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

現 況 図

工事内容(参考)	
1	調査工
2	吊り足場設置

八反田川橋
新産ヶ沢橋

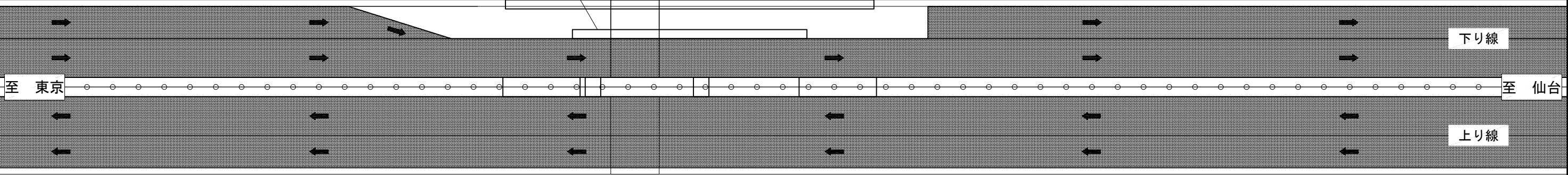
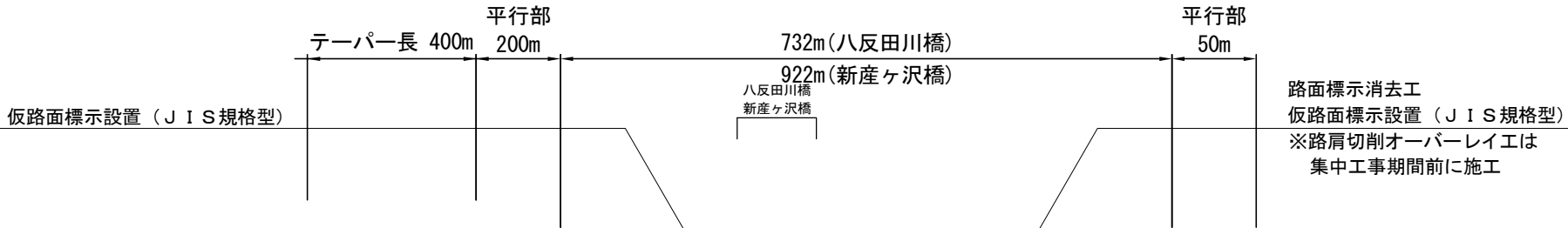


八反田川橋
新産ヶ沢橋

通行帯

施工ステップ①

工事内容(参考)	
1	既設路面標示消去
2	仮路面標示設置（ＪＩＳ規格型）

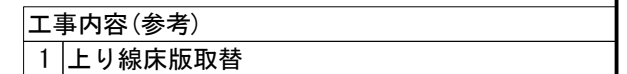


八反田川橋
新産ヶ沢橋

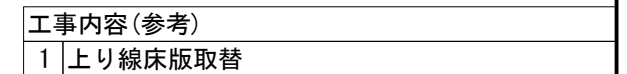
施工箇所
通行帯

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） ステップ図(1)		
縮 尺	—	図面番号	005 / 012
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

工事内容(参考)	
1	中分ガードレール撤去
2	渡り線・工事用出入口の施工(路面切削・舗装)
3	既設路面標示消去
4	仮路面標示設置(J I S規格型)
5	仮設防護柵設置
6	床版取替準備(中分既設付属物撤去)

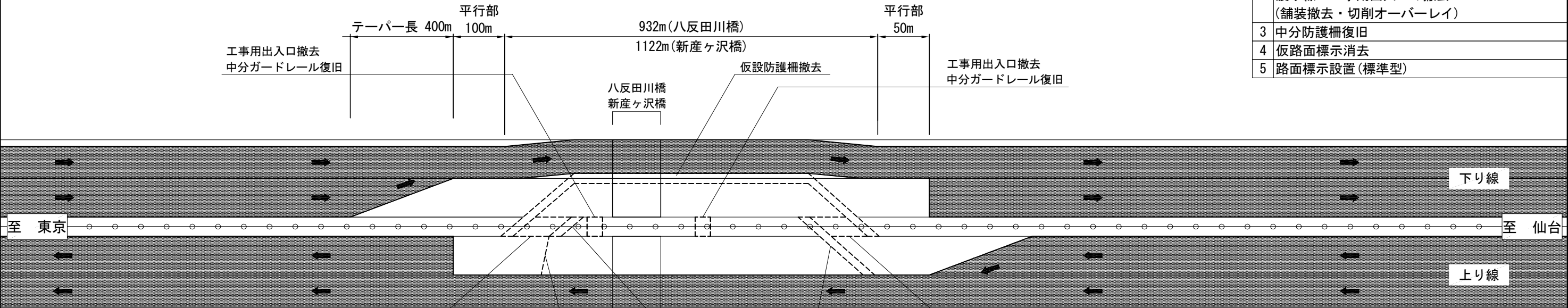


工事内容(参考)	
1	上り線床版取替

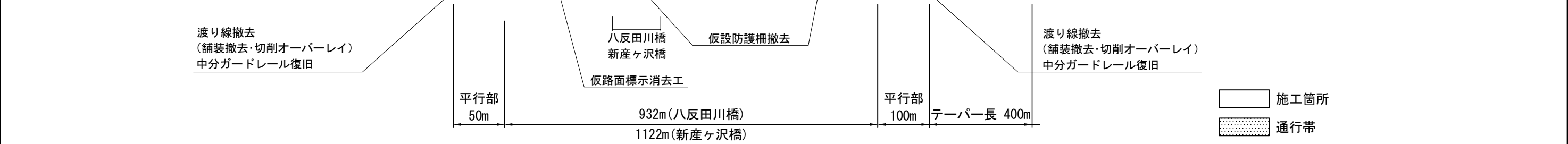


<p style="text-align: center;">東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事</p>			
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） ステップ図(2)		
縮 尺	—	図面番号	006 / 012
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

施工程序④

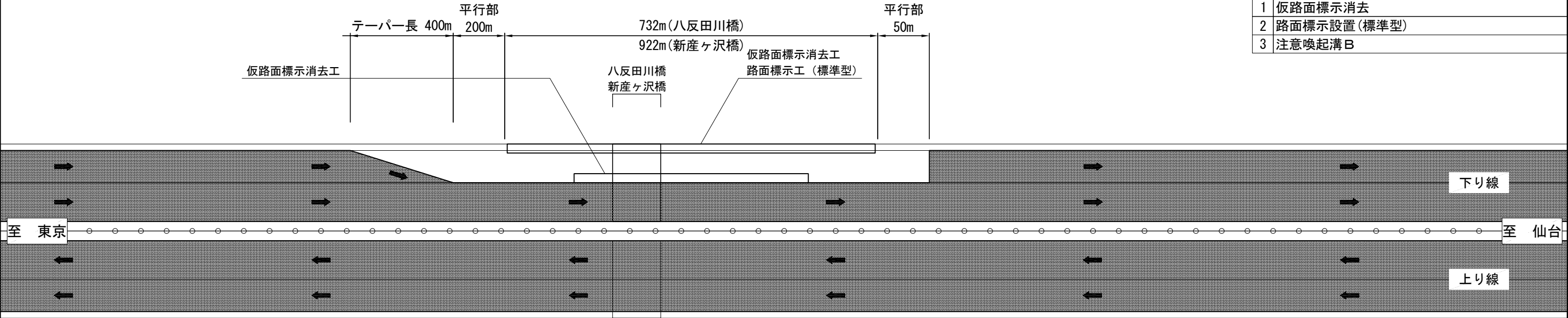


工事内容(参考)	
1	仮設防護柵撤去
2	渡り線・工事用出入口の撤去 (舗装撤去・切削オーバーレイ)
3	中分防護柵復旧
4	仮路面標示消去
5	路面標示設置(標準型)



	施工箇所
	通行帯

施工程序⑤



工事内容(参考)	
1	仮路面標示消去
2	路面標示設置(標準型)
3	注意喚起溝B

	施工箇所
	通行帯

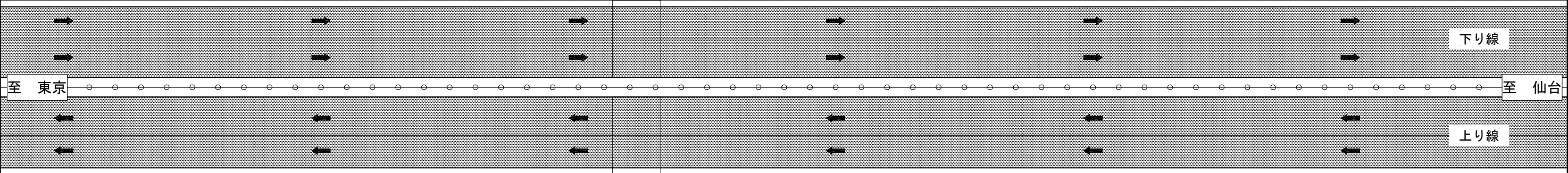
八反田川橋
新産ヶ沢橋

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） ステップ図(3)
縮 尺	— 図面番号 007 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

施工完了後

八反田川橋
新産ヶ沢橋

八反田川橋
新産ヶ沢橋



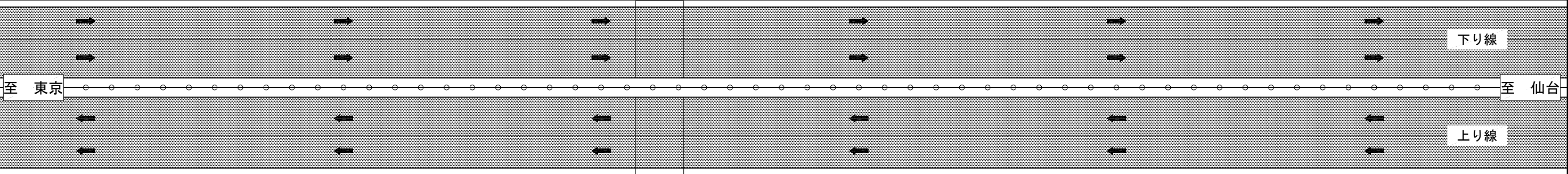
通行帯

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） ステップ図(4)		
縮 尺	—	図面番号	008 / 012
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

現 況 図

工事内容(参考)	
1	調査工
2	吊り足場設置

八反田川橋
新産ヶ沢橋



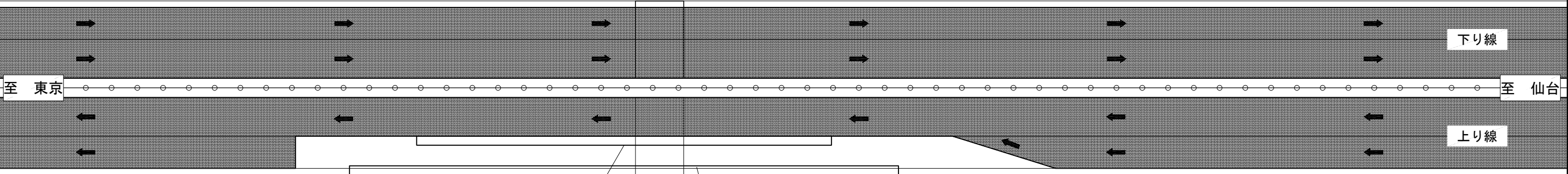
八反田川橋
新産ヶ沢橋

施工ステップ①

通行帯

工事内容(参考)	
1	既設路面標示消去
2	仮路面標示設置（ＪＩＳ規格型）

八反田川橋
新産ヶ沢橋

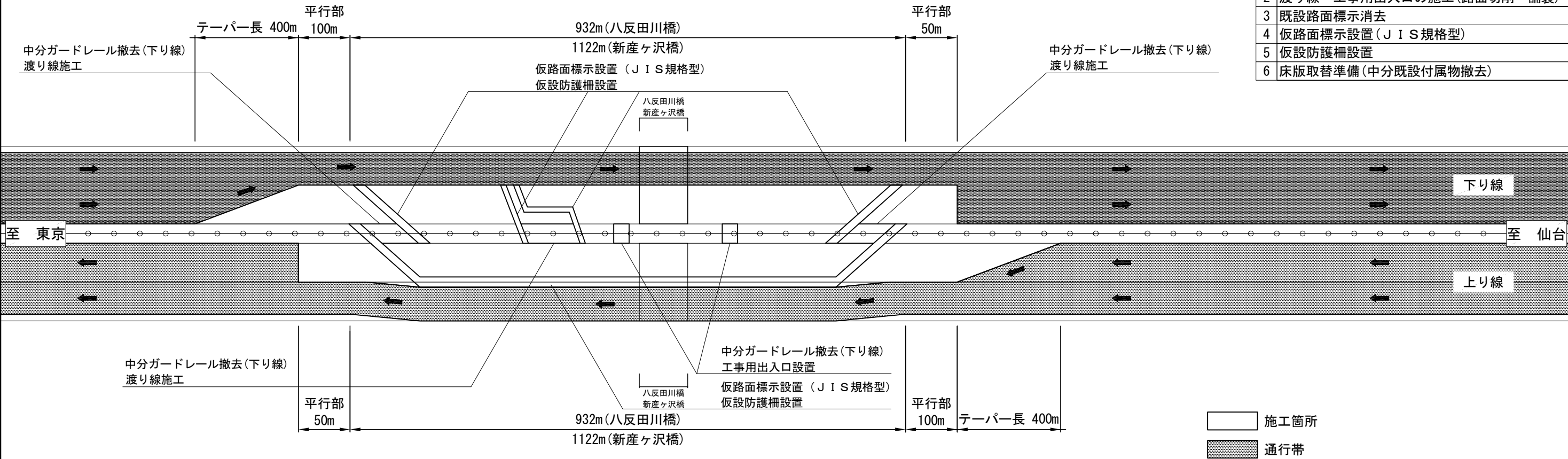


施工箇所
通行帯

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） ステップ図(1)
縮 尺	— 図面番号 009 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

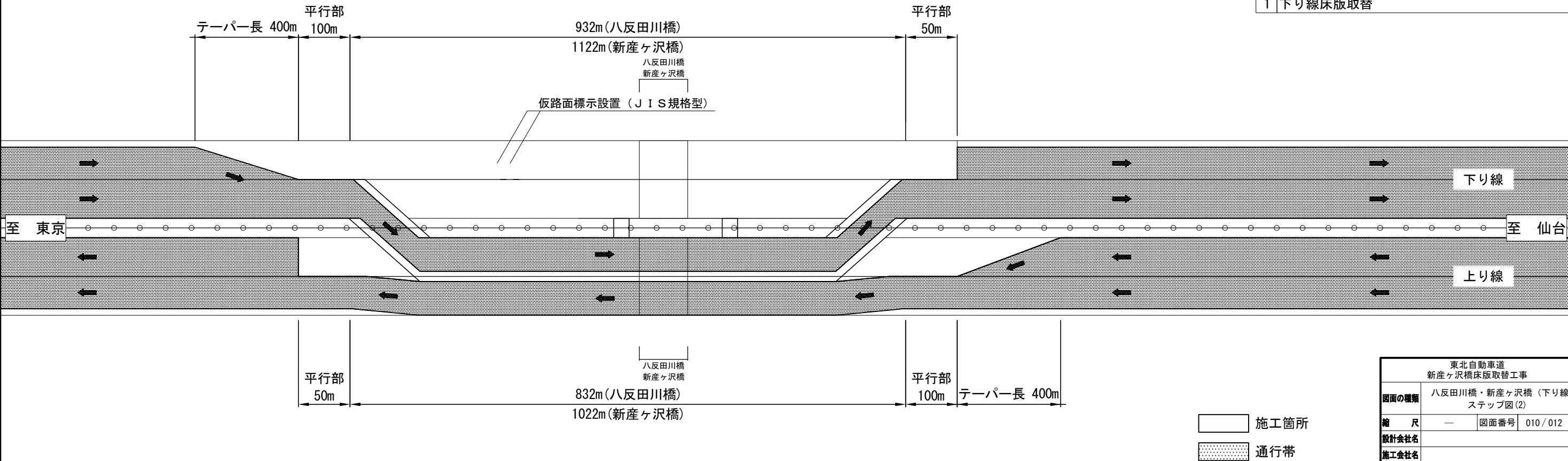
八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） 施工ステップ図（2）

施工ステップ②



工事内容(参考)	
1	中分ガードレール撤去
2	渡り線・工事用出入口の施工(路面切削・舗装)
3	既設路面標示消去
4	仮路面標示設置(JIS規格型)
5	仮設防護柵設置
6	床版取替準備(中分既設付属物撤去)

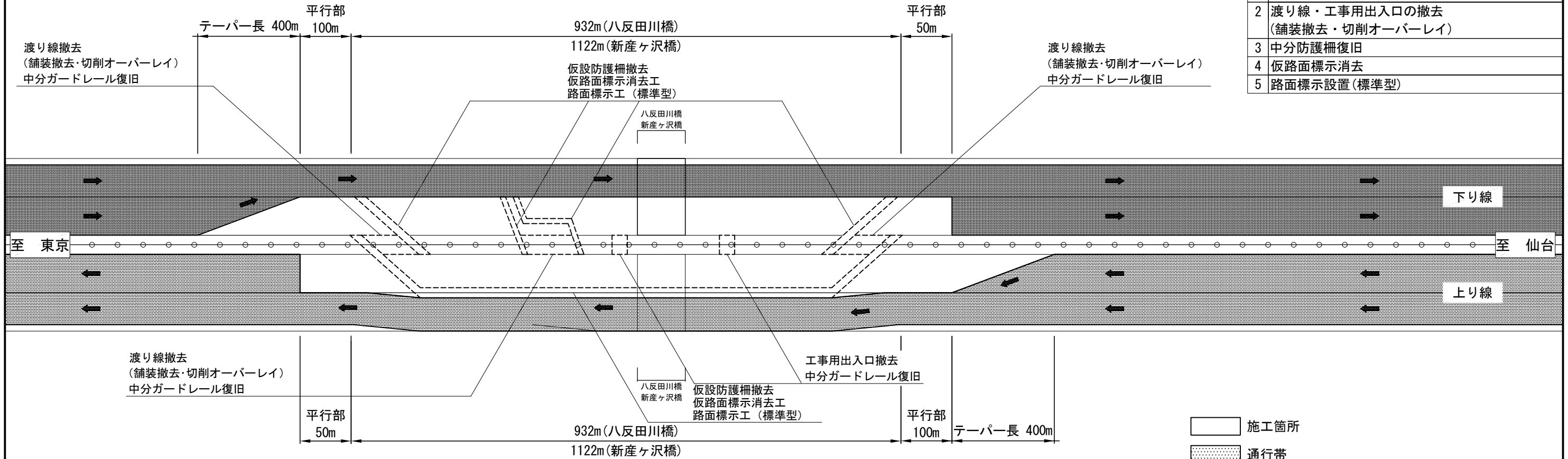
施工ステップ③



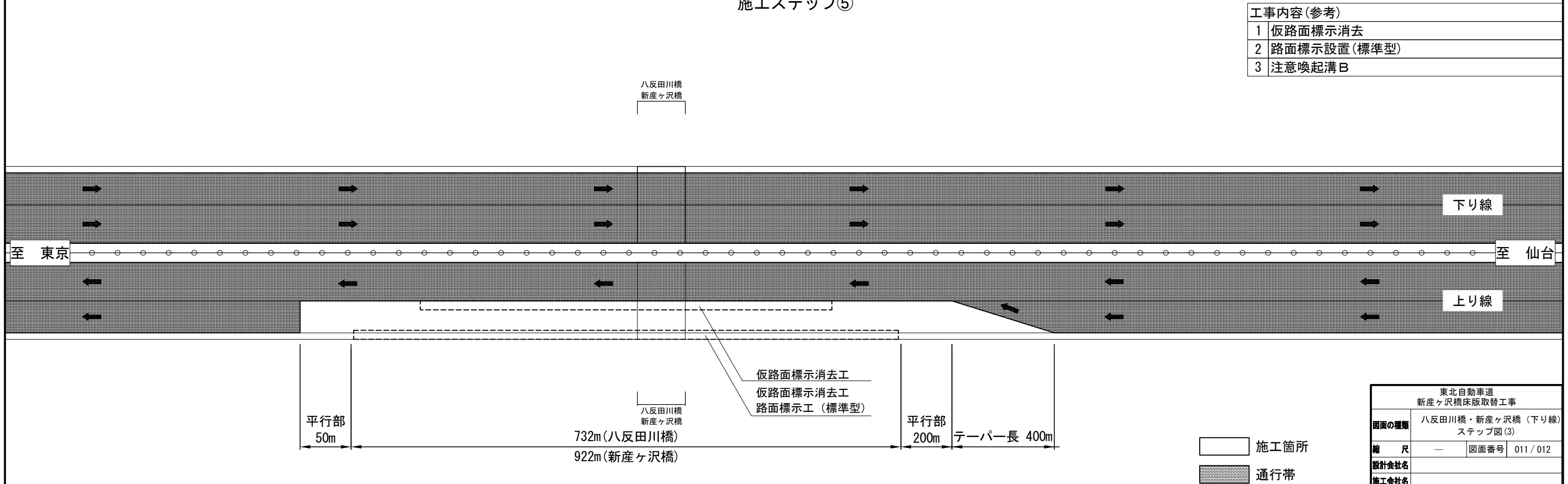
工事内容(参考)	
1	下り線床版取替

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） ステップ図(2)
縮 尺	— 図面番号 010 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

施工ステップ④



施工ステップ⑤



工事内容(参考)	
1	仮設防護柵撤去
2	渡り線・工事用出入口の撤去 (舗装撤去・切削オーバーレイ)
3	中分防護柵復旧
4	仮路面標示消去
5	路面標示設置(標準型)

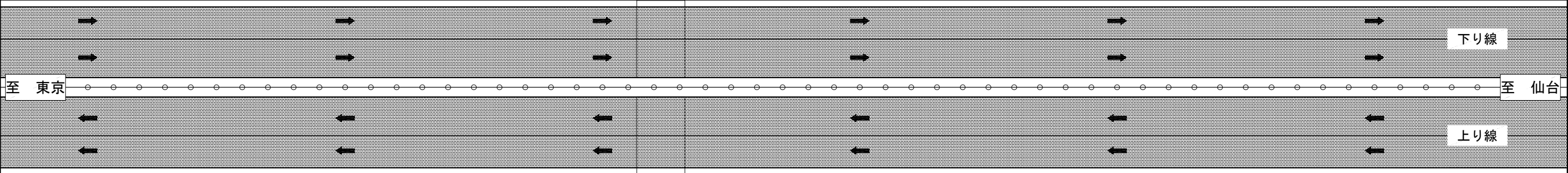
工事内容(参考)	
1	仮路面標示消去
2	路面標示設置(標準型)
3	注意喚起溝B

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事		
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） ステップ図(3)	
縮 尺	—	図面番号 011 / 012
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所	

施工完了後

八反田川橋
新産ヶ沢橋

八反田川橋
新産ヶ沢橋



通行帯

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） ステップ図(4)		
縮 尺	—	図面番号	012 / 012
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

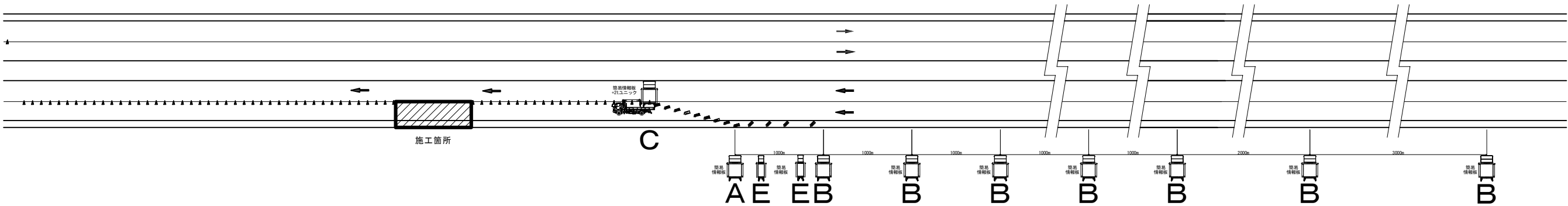
その他

圖 面 目 次

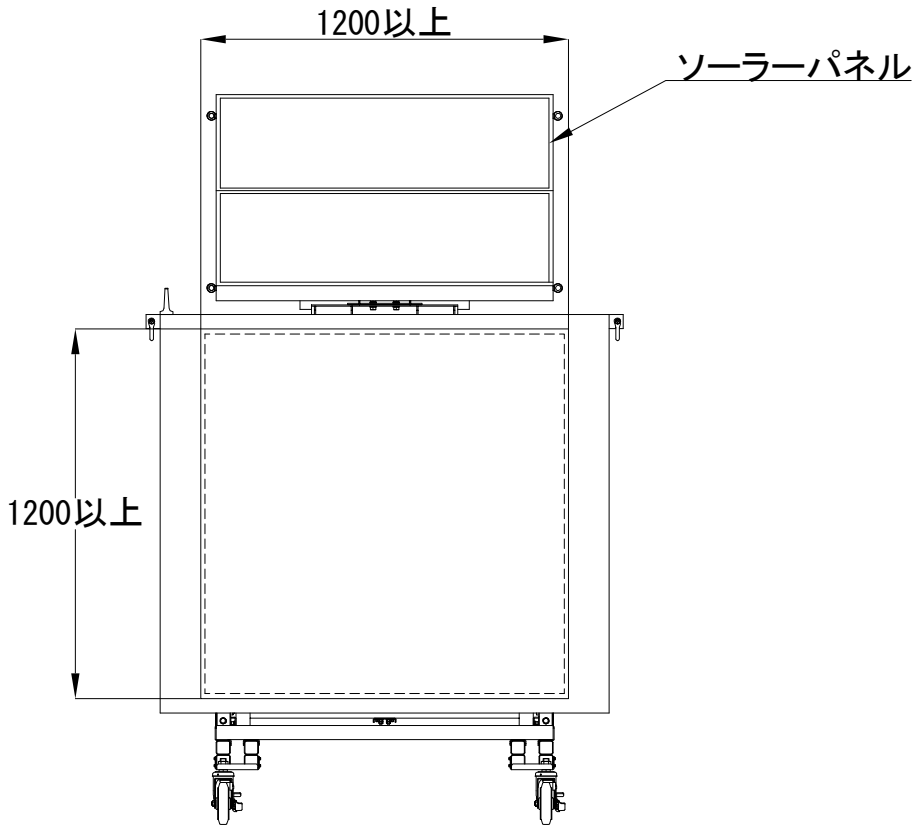
[illegible]

安全対策工(1)

簡易情報板配置図



簡易情報板詳細図



凡例

- A : 簡易情報板 A (監視カメラ・渋滞監視センサー付)
- B : 簡易情報板 B (渋滞監視センサー付)
- C : 簡易情報板 C (車線規制内)
- D : 簡易情報板 D (広域配置)
- E : 簡易情報板 E (車線規制手前)

大森川橋・松塚川橋施工時

	設置台数	設置期間	単位	数量
A	2 基	上り線: 67 日	基・日	134
B	14 基	上り線: 67 日	基・日	938
C	2 基	上り線: 67 日	基・日	134
D	14 基	上り線: 67 日	基・日	938
E	4 基	上り線: 67 日	基・日	268

八反田川橋施工時

	設置台数	設置期間	単位	数量
A	2 基	上り線: 92 日 下り線: 92 日	基・日	368
B	10 基	上り線: 92 日 下り線: 92 日	基・日	1840
C	2 基	上り線: 92 日 下り線: 92 日	基・日	368
D	12 基	上り線: 92 日 下り線: 92 日	基・日	2208
E	4 基	上り線: 92 日 下り線: 92 日	基・日	736

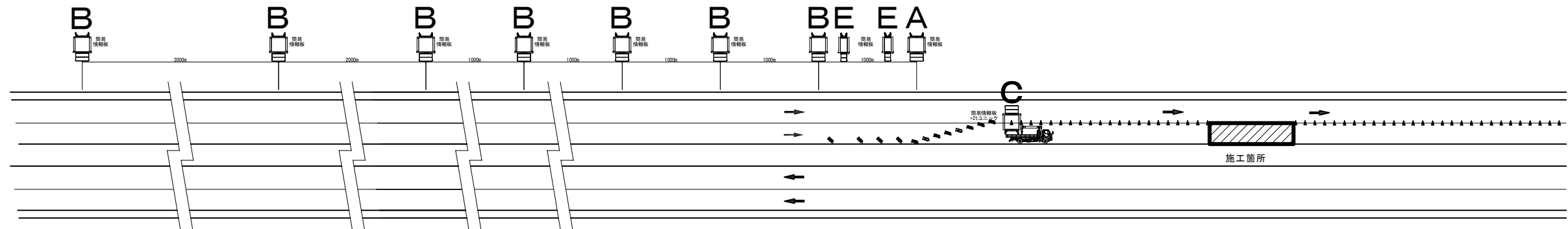
新産ヶ沢橋施工時

	設置台数	設置期間	単位	数量
A	2 基	上り線: 88 日 下り線: 88 日	基・日	352
B	10 基	上り線: 88 日 下り線: 88 日	基・日	1760
C	2 基	上り線: 88 日 下り線: 88 日	基・日	352
D	14 基	上り線: 88 日 下り線: 88 日	基・日	2464
E	4 基	上り線: 88 日 下り線: 88 日	基・日	704

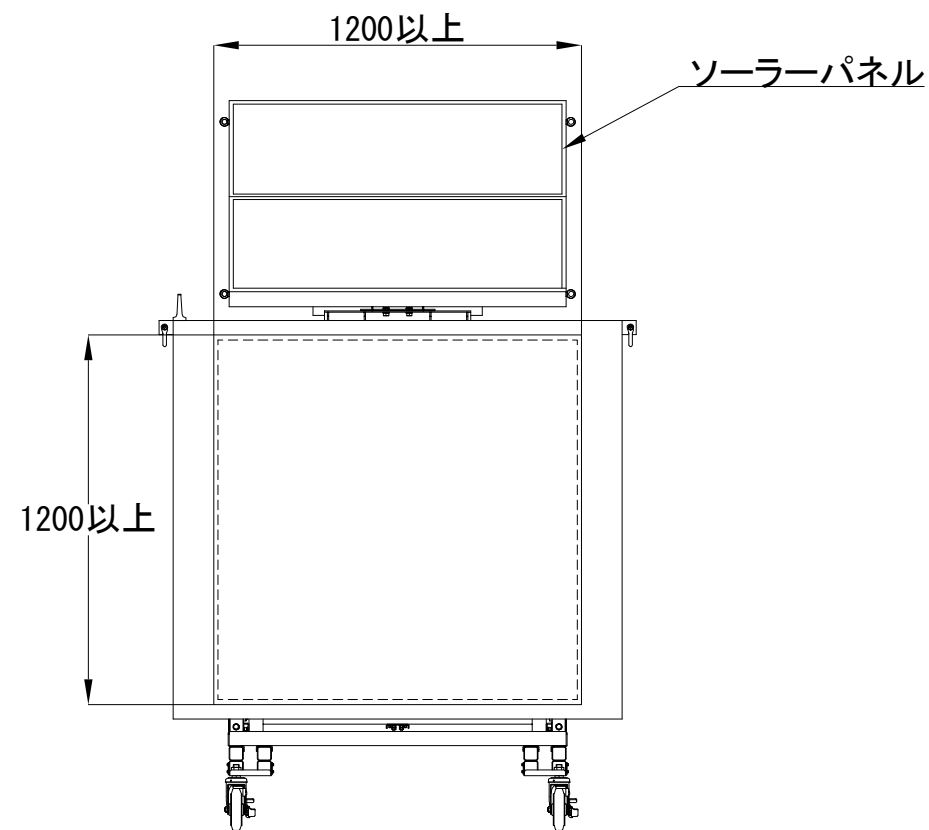
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	安全対策工(1)		
縮 尺	—	図面番号	001 / 003
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

安全対策工(2)

簡易情報板配置図



簡易情報板詳細図



- 凡例
- A : 簡易情報板 A (監視カメラ・渋滞監視センサー付)
 - B : 簡易情報板 B (渋滞監視センサー付)
 - C : 簡易情報板 C (車線規制内)
 - D : 簡易情報板 D (広域配置)
 - E : 簡易情報板 E (車線規制手前)

東北自動車道 新座ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	安全対策工(2)		
縮 尺	—	図面番号	002 / 003
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

